

実施計画掲載事業進捗管理票

資料④

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度										進捗状況		令和5年度			令和6年度				
					事業年度				六つの取組の視点						予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった	実績	課題	決算額	中間実績(7月末現在)	当初予算額			
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える										
【柱1】古代から現代までの豊富な文化財					事業数80事業(うち、新規事業17事業)																			
101	市指定華蔵寺お成りの間保存修理事業補助金	市指定文化財建造物のお成りの間について、所有者が行う周辺支障木の伐採工事に対して市で補助をする。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	秋季実施に向けて準備中	1,101千円		
102	市指定野原町八幡宮の七十五膳神事用木椀製作事業補助金	市指定文化財となったことにより、保存のために松江歴史館に寄託された木椀の複製の製作に対して市で補助をする。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	補助金交付決定済み。製作事業実施中。	150千円		
103	記録選択無形民俗文化財青柴垣神事調査事業	今後の継続が危ぶまれている「青柴垣神事」及び「諸手船神事」について調査を行い、記録を取る。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	調査事業の立ち上げにむけて準備を行った。	1,740千円		
104	松江城下町遺跡(殿町)発掘調査事業	民間事業者から受託を受けて実施したマンション建設工事に伴う発掘調査の報告書作成を行うもの。なお、文化財保護法第93条及び第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	報告書作成中	2,351千円		
105	福富 I 遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、福富 I 遺跡(乃木福富町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	事業準備段階	20,200千円		
106	松本遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、松本遺跡(乃木福富町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	事業準備段階	24,853千円		
107	史跡松江城整備基本計画策定事業	史跡松江城は、平成5年に「史跡松江城環境整備指針」が策定されて史跡整備が行われてきたが、以後20年以上が経過して環境や社会情勢が大きく変化することを受けて、平成27年に「史跡松江城保存活用計画」を策定した。この保存活用計画をもとに史跡全体を見通した整備基本計画を策定し、環境整備を図るもの。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	令和6年度の委託業者を指名競争入札にて選定、契約を行った。	6,529千円		
108	法吉二反田遺跡発掘調査事業	民間事業者からの受託を受け、法吉二反田遺跡(法吉町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部	★					●									—	—	—	事業準備段階	12,684千円		
109	スポーツ・文化振興財団管理	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に係る人件費等。	政策部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○						特になし	186,484千円	令和6年4月にプラバホールリニューアルオープン。	189,527千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える					
110	城下町・水の都魅力発信事業	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部				●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年が観光戦略プラン実行の初年度にあたることから、そのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」の発信のため、下記の事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ○城下町の魅力活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・国宝松江城・お城まつり <ul style="list-style-type: none"> →松江らしい演出で桜咲く松江城へ誘客を行った。 ・国宝松江城ライブ <ul style="list-style-type: none"> →国宝松江城(雨天のため、会場をくまびきメッセに変更)を舞台に人気アーティストによるライブを3/20(水祝)に行った。 ・武者のまち発信事業 <ul style="list-style-type: none"> →松江城やJR松江駅などで武者によるおもてなしを実施した。 ○水の都の魅力活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスツーリズム <ul style="list-style-type: none"> →心身のリフレッシュや健康増進につながるコンテンツづくりおよびモニターツアーを3/7～9で実施した。 ○情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・タ日のブランディング事業として、ブランドサイト、ブランドキービジュアルを作成した。 ・閑散期(12月～2月)の観光誘客および魅力発信のため、冬季専用のHPを作成した。 	「城下町」、「水の都」の魅力発信で更なる観光誘客と湖畔の賑わい創出により中心市街地の経済の活性化を図る必要がある。	44,365千円	令和5年に策定した観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」の発信のため、下記の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○松江城お城まつりの開催 <ul style="list-style-type: none"> →桜木のライトアップやステージ企画で桜咲く松江城を演出 ○松江城ステージイベント開催 <ul style="list-style-type: none"> →人気役者の公演を実施予定 ○武者のまち発信事業 <ul style="list-style-type: none"> →松江城やJR松江駅で武者のおもてなし ○湖畔の賑わい創出事業 <ul style="list-style-type: none"> →嫁ヶ島のライトアップを行う。 ○情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> →人気タレントを活用したプロモーション 松江城の国宝10周年の機運醸成・タ日のブランディングなど ○AIを活用した周遊促進事業 <ul style="list-style-type: none"> →JR西日本が提供する観光アプリの活用し、観光客の周遊促進を図る 	60,000千円
111	嫁ヶ島活用事業	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時を除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した(棧橋工事により、6～8月末まで一時休止)。 ・8月6日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。9月23日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中旬に「湖上茶会」を実施した。 	・イベント認知度の向上	2,209千円	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から7月まで、土・日・祝(荒天時除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した。 ・8月4日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。 ・9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中旬に「湖上茶会」を実施する予定。 	3,000千円
112	松江水燈路事業	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・9月23日から10月15日までの土・日・祝に開催 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい見どころの創出 ・会場内、とくに塩見縄手への周遊性の創出 	22,000千円	<ul style="list-style-type: none"> ・9月28日(土)から10月20日(日)までの土・日・祝に開催予定。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など予定。 	22,000千円	
113	城下町AR・VR体験環境整備事業	国宝松江城を中心とした文化財の魅力を海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR(拡張現実)・VR(仮想現実)技術を活用したアプリケーションを提供する。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションの維持管理 ・AR・VRの広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ利用者数の増加に向けて、さらなる情報発信が必要 	1,524千円	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションの維持管理 ・アプリケーションの広報 	1,045千円	
114	嫁ヶ島環境整備事業	平成11年に設置(平成17年災害による復旧施工あり)した現在の棧橋は、腐食などの老朽化が進んできたことから、穴道湖の修景に配慮した素材や防舷材を使った棧橋に付け替え、安全性を確保するとともに観光誘客につなげる。	観光部				●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年8月18日完成(令和5年8月25日竣工) 	特になし	14,112千円	令和5年度で事業終了	—	
115	潜戸観光遊覧船更新事業	(一社)加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げるもの。	観光部				●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の安全対策を踏まえた仕様により、遊覧船を1隻更新した。 	特になし	36,630千円	令和6年4月より発効した国土交通省の安全基準を踏まえた仕様により、遊覧船を入札し、造船業者を決定した。	38,600千円	
116	潜戸観光遊覧船運営補助金	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月計画通り補助金の支払を行った。 	特になし	7,500千円	毎月計画通り補助金の支払を行っている。	7,500千円	
117	小泉八雲旧居保存活用事業	旧居公開に向けた検討及び、保存活用計画策定準備を行う。	文化スポーツ部				●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の非公開部分の活用に向けた整理を含め、保存活用計画の策定を必要とする必要がある。 ・保存活用計画策定に向けて、関係各所(文化庁、県等)協議を進めた。 ・令和6年度文化庁補助事業として予算化した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・施設の非公開部分の活用に向けた整理を必要とする必要がある。 	217千円	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年6月3日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施中。 ・令和6年6月「史跡小泉八雲旧居保存活用計画策定委員会」を設置。委員5名に同年8月1日付け委嘱状交付予定。 	8,514千円	
118	美保関観光ビュッフェ保存活用事業	重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部				●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・美保関灯台とあわせて施設の一部が重要文化財指定された(令和4年2月)ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理を進めている。 ・令和5年度保存活用計画案を作成中。国や県のスケジュールに合わせて案を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年2月に文化庁へ提出し3月策定を目指すも、国の審査が間に合わず、R6年度中の策定予定となった。今後も国や県のスケジュールに合わせて案を完成させる。 	484千円	<ul style="list-style-type: none"> ・美保関灯台とあわせて施設の一部が重要文化財指定された(令和4年2月)ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理を進めている。 ・令和5年度保存活用計画案を作成中。国や県のスケジュールに合わせて案を提出する。 	—	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
119	SNS等による情報発信推進事業	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部				●	●							○	<ul style="list-style-type: none"> ・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeやSNSにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭整列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国権サミット松江大会 	令和5年度は12本の動画を作成したが、1本あたりのYouTube再生回数が約185回であり、多くの方に見ていただくことができなかった。	1,452千円	今年度、最初の動画の公開を8月末としているため、現時点では再生回数の実績はない。今年度は、中海圏域の若者をターゲットにしたSNS広告を実施することとしている。	2,452千円
120	松江の文化力次世代育成・継承事業	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 ・12の教室を開催し、計390人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 ・受託事業者と実施依頼先との調整において、依頼先から委託者への問い合わせが多く、受託者は依頼先への十分な説明を行う必要があるとともに、委託者へ必要な情報提供を行う必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・ホームページ上に掲載するだけでは活用団体が増えないことから、自治会等への声掛けを継続する必要がある。 	4,489千円	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 ・プロポーザル実施により、日本旅行Tis松江支店を受託業者として選定した。提案内容について改めて打合せの場を設け、8月上旬の契約に向けて準備している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・1つの団体から補助金申請を受けた。 	4,763千円
121	小泉八雲旧居管理運営	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:29,656人 	<ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・施設の非公開部分の活用に向けた整理をする必要がある。 	4,552千円	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:12,854人(7月末時点) 	5,687千円
122	美保関観光ビュッフェ管理運営	美保関観光ビュッフェの維持管理を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理をする。 ・R6年2月に文化庁へ提出し3月策定を目指すも、国の審査が間に合わず、R6年度中の策定予定となった。今後も国や県のスケジュールに合わせて案を完成させる。 	2,109千円	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度からの指定管理を引き続き受けていただいた。 ・適正な管理運営を行っていただいている。 	4,637千円
123	武家屋敷保存活用事業	武家屋敷の管理に伴う修繕工事を行う。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:60,462人 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の有形文化財(建造物)である建物の維持管理、補修等について、文化財担当課と連携しながら適切に対応していく。 	1,287千円	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っていただいている。 ・7月末時点での入館者数:23,936人 	2,436千円
124	小泉八雲記念館管理運営	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・企画展「アイルランド・日本交流美術展『KWAIDAN—ラフカディオ・ハーンとの邂逅』(令和5年6月27日～9月24日)、小泉清—その生涯とコレクション展(10月6日～)開催 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:64,952人 	<ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・2016年のリニューアルオープン以降7年が経過し、展示映像音響設備のオーバーホール等実施する必要がある。 	21,043千円	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:27,034人(7月末時点) 	35,318千円
125	佐陀神能用具等修理・新調事業	佐陀神能で使用している面、衣装、用具等の老朽化が激しいことから、佐陀神能保存会が行う、文化庁の補助金を活用した修理・新調事業の支援をする。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐陀神能民俗文化財調査報告書(令和2年度)」をもとに、令和3年度から佐陀神能保存会が実施する修理・新調事業に対し支援を実施。令和5年度は3か年事業の最終年の予定であったが、文化庁補助事業分のうち3面の完成が間に合わないため、令和6年度に繰り越して実施をする。 ■文化庁事業分 当初は計6点(面:6点)の復元新調を予定。うち3点は完成。残りの3面は令和6年度に繰り越して実施。 ■松江市単独事業分 計52点(衣装:41点、道具:11点)の復元新調した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具等の復元新調は概ね順調に進捗しているものの、実際に佐陀神能を継承していく人材をどのように確保していくかが課題。 	440千円	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度完成予定だった面3点について、復元新調が完了し、8月上旬に文化庁による現地指導を予定している。 	448千円
126	文化力を生かしたまちづくり推進事業	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知度が低く、認知向上を図る必要がある。 	210千円	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月下旬頃開催予定 ■7月29日～8月31日まで「松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート」を実施中 ■「松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画」を策定予定 	1,261千円
127	ジオパーク推進事業	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けカヤック体験イベントや「ジオパークの日」のイベント等をはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値を達成できた。 	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、今後も入込客数を増やしていく必要がある。	10,713千円	8月から本格的にイベント等を開催する計画であり、入込客数を増加するため着実に業務をすすめていきたい。	10,935千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額		
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった
128	県指定真名井神社本殿保存修理事業補助金	県指定真名井神社本殿の高欄が毀損しており、所有者によって保存修理が実施される。保存修理に対して県とともに市として補助金を交付する。	文化スポーツ部				●								○	○	7月に工事業者と契約を交わし、7月末に工事が完了した。 ・8月末に実績報告を県と市に提出され、確定通知を伝達した。 予定通り、年度内に事業完了	特になし	545千円	—	—
129	県指定真名井神社本殿防災施設整備事業補助金	県指定真名井神社本殿の防災施設が不十分であるため、所有者によって実施される防災施設整備事業に対して県とともに市として補助金を交付するもの。	文化スポーツ部				●								○	○	6月末に工事業者と契約を交わし、取付け機材を発注した。 事業を予定通り年度内に完了。	特になし	1,166千円	—	—
130	重文木造業師如来坐像収蔵施設(華蔵寺)修理事業補助金	所有者が実施する国指定重要文化財木造仏像を収蔵する施設の修理に対して国・県とともに市として補助金を交付する。	文化スポーツ部				●								○	○	7月に設計業者と契約を交わした。 実施設計完了後、8月末に工事業者と契約を交わした。 事業を予定通り年度内に完了。	特になし	2,108千円	—	—
131	重文木造業師如来坐像外4軀収蔵施設(佛谷寺)修理事業補助金	所有者が実施する国指定重要文化財木造仏像を収蔵する施設の修理に対して国・県とともに市として補助金を交付する。	文化スポーツ部				●	●							○	○	事業を予定通り年度内に完了。	特になし	558千円	補助金交付決定済み。 事業実施中。	518千円
132	県指定雁皮紙用具修理事業補助金	保持者が実施する質をはじめとした紙漉き用具の修理に対する県補助事業の随伴補助。	文化スポーツ部				●	●	●						○	○	紙漉きに用いる質の修理に対する補助を実施。	特になし	112千円	令和5年度と同様に実施。	79千円
133	史跡松江城史跡等取得事業	城山地内の民有地の買上げに要する経費。	文化スポーツ部				●	●	●						○	○	今年度、1件の用地取得を実施した。 来年度の取得へ向けた土地の測量、不動産評価等を行った。	特になし	13,156千円	3件の用地取得へ向け、土地の測量、補償物件の調査、不動産評価等を進めている。	236,059千円
134	重文木榎家住宅保存修理(第2期)事業補助金	所有者が実施する重文木榎家住宅主屋ほか9棟の保存修理に対する国補助事業の随伴補助。	文化スポーツ部				●	●	●						○	○	昨年度に引き続き、保存修理を実施しており、主に主屋の解体を進めた。	文化財の保存修理に多額の予算を要するため、文化財所有者への負担が大きい	4,775千円	補助金交付決定済み。 事業実施中。	8,086千円
135	重文木榎家住宅防災施設整備事業補助金	R4:所有者が実施する重文木榎家住宅新蔵ほか2棟の自動火災報知設備整備に対する国補助事業の随伴補助。 R5:木榎家住宅全体の総合的な防災設備に係る文化庁現地指導旅費に対する市補助	文化スポーツ部				●	●	●						○	○	文化庁現地視察無し。	防災施設の整備に多額の予算を要するため、文化財所有者への負担が大きい	0千円	実施に向けて準備中	2,045千円
136	わがまち自慢発掘プロジェクト事業	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部				●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白濁)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。	まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施だけでは厳しい。	1,100千円	・R6年度前半は、3地区で合計71名の参加があった。応募総数は3地区合計132名。 ・まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施には限りがある。公民館等の各地域主体のまち歩きの参加者数を報告してもらうなどして、全体の参加者人数の増加を目指す。	1,130千円
137	国有文化財管理	国有文化財(名勝天然記念物)の毀損・滅失及び不法占拠を防止するため、国庫補助事業を活用して見回り監視を行う。	文化スポーツ部				●	●	●	●					○	○	令和4年度と同様に、潜戸、美保の北浦、多古の七つ穴の見回り監視を実施。	特になし	371千円	令和5年度と同様に実施。	375千円
138	史跡及び名勝菅田庵維持管理	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部				●	●	●	●					○	○	令和4年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施。	特になし	4,215千円	令和5年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	4,616千円
139	史跡松江藩主松平家墓所整備事業補助金	史跡松江藩主松平家墓所について、文化財の本質的価値を将来にわたって望ましい形で保存し、公開活用する目的で、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。	文化スポーツ部				●	●	●						○	○	令和5年4月、令和6年3月に整備検討委員会を開催。 ・同委員会で決定した事業計画に基づき支障木伐採工事実施設計、参道修復工事等を実施。	史跡全体を整備するため長期間にわたる事業であり、所有者にとって多額の費用が大きな負担となっている。 ・所有者に国庫補助事業を施行するノウハウがないため、市からの支援が必要である。	5,290千円	令和6年3月に開催した整備検討委員会 で決した事業計画に基づき進行中。	13,866千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
140	史跡等維持管理	松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●							○	・令和4年度と同様に、史跡等の除草、トイレ清掃などを実施。 ・令和5年8月に権現山洞窟住居跡(美保関)の危険木伐採。	監視、除草範囲が広大、多数であるため対応方法の検討が必要	11,356千円	令和5年度と同様に、史跡等の除草、トイレ清掃などを実施。	11,056千円
141	指定文化財維持管理補助金	指定文化財の管理については、所有者等に様々な法的規制を課して適正な管理をすることとしており、これを円滑に実施するために、所有者等が行う管理上の経費について助成し、文化財の適正な管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●							○	・令和4年度と同様に、防災設備点検、環境整備等に対する補助を実施。	特になし	994千円	令和5年度と同様に実施。	904千円
142	鹿島歴史民俗資料館管理運営	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・企画展「海上の覇者 奥才古墳群」を開催。 ・特別展「茶色い戦争がありましたー軍事郵便と鹿島の戦争」を開催。	特になし	12,952千円	・特別展『海と湖に生きた人々ー登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び穴道湖・中海の漁撈用具」登録記念ー』(10/5～)を開催に向け準備中。	11,627千円
143	出雲玉作資料館管理運営	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・春季企画展「福島窯と本船木窯～江戸期から続いた民窯～」を開催。 ・夏季企画展「没後10年 鈴木倭帆のガラス展～玉湯町布志名が生んだ工芸作家～」を開催。 ・秋季企画展「手仕事の美～暮らしのなかの布志名焼と生活道具～」を開催。	特になし	10,878千円	秋季企画展「松江藩の藩窯～雲善・永原窯を中心に」(10/23～)の開催に向け準備中。	11,910千円
144	松江市歴史文化まちづくり計画推進	松江市歴史的風致維持向上計画(歴史まちづくり計画)[計画期間:令和2年度～令和11年度]の進捗管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・8月8日 第1回歴まち協議会 ・2月2日 第2回歴まち協議会	特になし	101千円	・2月 第1回歴まち協議会(予定)	110千円
145	全国街道交流会議	地域独自の自然、歴史、文化を生かしたまちづくり、みちづくりを議論し、街道を共通軸とした連携・交流を行うNPO全国街道交流会議へ所属し年会費を負担する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・年会費の負担	特になし	50千円	・6/11 街道交流首長会総会(市長は議会開会日のため欠席)において幹事に就任。 ・7月令和6年度年会費の負担	189千円
146	伝統的建造物群保存地区検討事業	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・文化財的価値づけにつなげるため、文化庁補助事業「伝統的建造物群保存対策調査」(2年間)の2年目に着手し、年間5回にわたる調査を完了している。 ・2月4日に調査の成果報告会を開催した。 ・重伝建制度の導入について住民の理解を深めるため、美保関まちなみ研究会の事業を運営し、計3回の勉強会などを開催した。 ・9～10月、住民による先進地視察を実施した。(岡山県矢掛町、大田市大森銀山)	・伝建は制度導入だけでは、人口減少や町の活性化の課題解決には繋がらない。住民を主体としたまちづくりの体制を整えることが必要であるが、行政としてどのように支援体制を整えていくのかが課題である。	3,632千円	・4月 調査報告書配布(地元住民、美保関支所、関係団体等) ●住民組織「美保関まちなみ研究会」 ・5/12,6/17,7/29 ●勉強会「美保関まちなみ塾」 ・5/12,6/9,7/21 ●「mihonoseki伝建だより」 ・5月、6月発行 ●住民先進地視察 ・6/6:岡山県津山市 ●7/10～7/12文化庁主催「伝統的建造物群保護行政研修会(基礎コース)」参加 長崎県開催 ●庁内連携 ・5/27～5/31:各会派説明(事業概要と今後の展開) ・6/26 主管課長会で概要説明	1,149千円
147	文化財収蔵施設維持管理	文化財収蔵施設として活用する穴道墓古館及び島根歴史民俗資料館及び八雲郷土文化保存伝習施設の維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・令和4年度と同様に、資料整理・活用、施設の維持管理等を実施	特になし	918千円	令和5年度と同様に実施。	915千円
148	歴史的建造物保全継承事業	歴史的なまちなみを形成している古い建造物(歴史的建造物)の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・松江市交通局主催による歴史的建造物を巡るレクラインバスツアー(2回)の開催 ・6月:地域活性化や民間ビジネスにつなげるため、歴史的建造物活用事業「美保関セキノイチ」を開催 ・8月～11月:2次調査(2件:三島邸、旧米江旅館) ・1月:登録についての諮問(1件、旧米江旅館)	・歴史的建造物登録を希望する所有者もあるが、調査費用がかかり、一度にたくさん登録はできない。 ・歴まち基金から修繕費補助を支出しているが、積立金がなくなったら補助ができなくなる。	2,267千円	令和6年11月開催予定の歴史的建造物保全活用審議会にて、登録候補3件を諮問する予定である。審議会での答申を受け、3件を登録する予定である。	6,903千円
149	AR・VR推進事業	田和山史跡公園において、ARコンテンツ(田和山山頂から見た古景観の復元)の実装及び田和山遺跡のVRデータ作成を行う。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●			○	AR・VRデータ作成の監修を同志社大学リエゾンオフィスと、実務を同志社大学発のベンチャー企業に委託。	AR・VRデータ作成に当たっては考古学や地質の調査・研究が不可欠であり、史跡公園で視聴可能になるまでの期間を延長しなくてはならなかった。	2,286千円	田和山山頂から見た古景観の復元データ作成のために2回の作業部会と1回の検討会を実施。	3,613千円
150	菅田横穴墓群発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、菅田横穴墓群(菅田町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部			●	●			●					○	・事業者の都合により事業が延期。今年度・来年度中の実施はなし。	特になし	0千円	—	—

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
151	鏡田遺跡発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、鏡田遺跡(大庭町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部				●	●				●			○	・現地での発掘調査を8月に終了。	特になし	2,335千円	準備中	671千円
152	新庄園場整備関係発掘調査事業(受託事業)	松江県土から受託を受け、過年度に実施した新庄園場整備に伴う発掘調査の報告書作成を行うもの。なお、文化財保護法第93条及び第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部				●					●			○	・3月に報告書刊行。	特になし	1,276千円	-	-
153	鈴垂城跡発掘調査事業(受託事業)	航空自衛隊からの受託を受け、鈴垂山城跡(美保関町)の発掘調査及びこれに伴う報告書の作成・刊行を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部				●					●			○	・現地での発掘調査を10月で終了。報告書作成済。	特になし	3,679千円	-	-
154	宮田古墳群発掘調査事業(受託事業)	民間事業者からの受託を受け、宮田古墳群(西川津町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。	文化スポーツ部				●	●				●			○	・現地での発掘調査を11月で終了。	特になし	5,001千円	準備中	1,112千円
155	廻田古墳群発掘調査事業	文化財保護法第93条および第99条の規定に基づき、記録保存のため、廻田古墳群の埋蔵文化財発掘調査を実施するもの。	文化スポーツ部				●	●				●			○	・現地での発掘調査を7月で終了。3月に報告書刊行。	特になし	2,039千円	-	-
156	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業	史跡田和山・神後田(じごで)遺跡の史跡指定地の公有地化を実施する。	文化スポーツ部				●	●	●			●			○	・9月で用地測量、補償物件調査業務委託完了。10月から契約手続きを行う予定。	特になし	7,345千円	・用地測量、補償物件調査業務委託を8月末までに完了予定。	20,465千円
157	埋蔵文化財本調査事務	公益財団法人松江スポーツ・文化振興財団に委託していた発掘調査(本調査)について、松江市直営で実施する体制を整備するもの。	文化スポーツ部				●	●	●			●			○	・発掘調査の完全直営化に伴い、現地調査5件、報告書作成7件の事業を実施するため、会計年度任用職員(補助員8名、遺物整理員5名)の雇用とこれにかかる事務等を行った。	特になし	31,566千円	実施中	47,230千円
158	史跡出雲国分寺跡整備事業(単独事業)	八雲立つ風土記の丘を松江市の南の歴史・文化・観光の拠点とするため、史跡出雲国分寺跡の整備を行う。	文化スポーツ部				●	●	●	●		●			○	・史跡の追加指定に向けての地権者との協議が停滞している。文化庁との事前協議も今後行う予定。	-	119千円	-	118千円
159	史跡田和山遺跡公園管理運営	史跡田和山遺跡公園の維持管理を行うとともに、史跡公園の活用を図る。	文化スポーツ部				●	●	●	●		●	●		○	・田和山史跡公園植栽管理(除草)委託を年2回(7月、10月)実施。その他修繕等の日常的な管理を行う。 ・8月5日・6日実施の水郷祭湖上火火大会の見物目的で田和山史跡公園に多数の人が来訪するため、入場制限(各日350名まで)を設けたうえ、公園内の安全監視、駐車場の交通誘導を実施。 ・8月20日に夏休み体験教室を開催、小学生と保護者を対象に、弓矢づくり、山の幸染ランブレードづくりを実施。 ・田和山遺跡の活用団体(田和山サポータークラブ、里山を育てる会等)との定期的な連絡会は継続。8月7日をもって通算200回を迎えた。	田和山史跡公園植栽管理について、除草範囲が19000㎡もの広大な広さであり、なかなか選定業者の確保ができるのが不明(これまで取り組んでもらっていた業者が今後は作業員の確保が困難で受託が難しいと明言)	7,570千円	・田和山史跡公園ならびに神後田遺跡の除草作業について、それぞれ委託業者を確保し、前者の1回目は7月に、後者の1回目を6月に実施。その合間には職員による除草作業も実施。	8,754千円
160	重要遺跡活用促進事業	令和3年に出雲国分寺跡が国史跡指定100周年、田和山遺跡が国史跡指定20周年を迎え、令和4年に出雲玉作跡国史跡指定100周年を迎える。いずれも史跡として節目の年を迎えるにあたり、「松江の文化財百年の歴史とこれから」をテーマとした連続講座事業を開催する。	文化スポーツ部				●	●	●	●		●	●		○	-	・周年記念イベントだけでなく、発掘調査成果を公開するためのイベントも計画すべき。	0千円	・8月31日開催予定の山代二子塚・大庭鶴塚の史跡指定100周年記念講演会のチラシ配布完了。	291千円
161	石垣修理事業	崩落の危険性が高い石垣の修理を年次的にを行い、石垣の保全を図る。	文化スポーツ部				●	●	●	●		●			○	・月見橋下石垣保存修理工事の報告書を作成。	石垣修理事業を進めるに当たり、松江城全体の整備基本計画を策定するよう文化庁の指導があり、この計画の中で今後の修理計画を見直す必要がある。	853千円	史跡松江城整備基本計画策定委員会を立ち上げ、10月に第1回検討委員会を開催予定。	188千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
162	田和山史跡公園再整備事業	国史跡指定20周年を迎えた田和山遺跡について、追加指定となった神後田遺跡をはじめとする周辺の松江市南郊の遺跡群との関連性などの新たな知見を基に分かりやすく紹介するとともに来訪者が安全に見学できるように史跡公園の再整備を実施するもの。復元掘立柱建物の改修や手摺、木橋などの公園施設の改修を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●						○	・史跡公園内の復元草葺竪穴建物の解体・撤去工事を実施。 ・公園内の景観支障木の伐採(一部)を実施。	国庫補助事業により実施しているが、近年補助金が削減傾向にあり、年次計画を見直す必要がある。	10,307千円	公園内の木橋(4橋)の改修、撤去した竪穴建物の遺構平面表示等について入札準備中。	54,462千円
163	埋蔵文化財遺物整理事業	発掘調査により出土した遺物の整理・保管を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●					○	・旧恵曇公民館を正式に収蔵施設として利用するにあたり最低限必要な消防設備ならび電源の整備に必要な修繕を、公共建築課の協力を得ながら、令和4年度から開始しており、5年度は電源復旧工事ならびに消防設備修繕工事を実施し、完了した。	特になし	13,818千円	恵曇収蔵施設(旧恵曇公民館)について、以下の業務を行った。 ・内部に堆積していた産業廃棄物等の適正処理を行った(7月までに最終処理完了)。 ・施設の本格稼働にあたり、維持管理のため火災報知に係る機械警備委託を5月から開始した。 ・上下水道も開通したが、水道口径が大きく基本料金が高い設定であることから、ランニングコスト削減のため減径工事を行った。	6,990千円
164	埋蔵文化財分布試掘調査事業	遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行うとともに、重要遺跡の内容確認を行う。また埋蔵文化財の調査で出土した脆弱遺物について保護、活用のため保存処理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●						○	・試掘調査34件、分布調査104件実施した。 ・新庄地区農地中間管理機構関連農地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3月刊行。 ・出土遺物の保存処理業務委託(鉄製品1点)を実施した。	・保存処理すべき遺物が多いが、現状、処理できていない遺物が多い。	13,070千円	・試掘13件、分布調査23件実施。(令和6年7月末時点) ・報告書作成中。 ・保存処理契約手続き中(9月引渡し、3月処理完了し、引取り) ・八幡鹿島山古墳発掘調査を実施(完了は8月)。	19,848千円
165	文化財デジタルアーカイブ構築事業	「文化財保存活用地域計画」に掲げる文化財情報のデジタル化推進の取り組みとして、松江市の各文化財施設が保有する文化財情報をデジタル化して一元化を図り、利用しやすい環境を整える。	文化スポーツ部			●		●	●	●	●	●			○	・令和5年度は第1段として鹿島歴史民俗資料館の収蔵品を対象に、データベースを整備。 ・オプション機能であるポケット学芸員で佐陀神能についての画像と解説をアップした。	基礎的なデータベースはできたが、今後は随時情報を更新し、より充実させていく必要がある。	482千円	-	-
166	松江城伐採木有効活用事業	令和4年度に天守への延焼防止を目的に伐採した木の有効活用を図る。	文化スポーツ部				●	●							○	・活用に必要な伐採木の乾燥と製材を実施。 ・リニューアルしたプラバホールの座席札として活用。 ・天守修理の際に屋根の下地に使う野地板とベンチを製作。	・伐採木で製作したベンチの配置先の検討。	6,214千円	・伐採木を利用した書架(本棚)と積木を制作中。	4,849千円
167	松江市文化財保存活用地域計画推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」の推進を図る。松江市文化財保存活用地域計画協議会の開催、「松江の歴史集」のWEB公開などを行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			○	・「松江市文化財保存活用地域計画ヒストリー集」としてものづくりに関するヒストリーを作成、ホームページ上で公開した。	ヒストリーをPDFで公開しているが、より読みやすい、理解しやすいコンテンツを検討する必要がある。	4,549千円	「松江市文化財保存活用地域計画ヒストリー集」として「松江の水をめぐるヒストリー」を作成中。	5,117千円
168	国宝松江城天守石垣変位観測事業	「松江城天守保存活用計画」及び「国宝松江城天守耐震補強工事基本計画」に基づき、石垣の変位観測などを実施することにより、その成果を今後の安全対策に活用する。	文化スポーツ部		●	●	●			●						・令和5年度から「松江城・城山公園管理」の中で実施。	-	0千円	-	-
169	国宝松江城天守防災施設等整備事業	松江城天守の防火設備は、平成2年度までに整備・改修したもので老朽化が進んでいることから、全面的な更新を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●					○	・今年度から来年度にかけて工事を実施する予定。	災害時適切に活用できるよう、定期的な訓練の実施や対応マニュアルの改良などが必要である。	1,183千円	・天守各階スプリンクラーの設置 ・屋外消火栓の配管工事を実施。 ・ポンプ室廻り消火配管・配線の引き込みを実施。	958千円
170	地域の文化財調査・発信事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館単位での文化財調査を公民館、地域住民と共に、その成果を刊行物などを通じて発信する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●					○	・「文化財保存活用地域計画」に基づき松江地域の古文書所在確認調査を遂行している。調査成果は調査コラムや地域の文化祭展示などで発信。 ・HPやX(旧:Twitter)で歴史情報を随時発信しており、「松江市歴史叢書」「松江市歴史史料集」などの刊行物も発刊(3月)。	・古文書所在確認調査の成果を地元と共有する効果的な手法の検討が必要。 ・講座や刊行物の発刊といった単発的・一方的な情報発信だけでなく、地域との双方向的な連携を意識しながら、一体感を持って進める必要がある。	9,516千円	・「文化財保存活用地域計画」に基づき松江地域の古文書所在確認調査を遂行している。 ・HPやX(旧:Twitter)で歴史情報を随時発信しており、「松江市歴史叢書」「松江市歴史史料集」などの刊行物も編集済み。	9,683千円
171	文化財情報デジタル化推進事業	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財情報のデジタル化を推進し、市民をはじめとするより多くの人に松江の文化財の魅力や魅力を伝えると共に、文化財行政におけるデジタル人材の育成も図る。具体的には、連携協定を結ぶ同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターとの共同研究により松江城天守VRソフトの作成等を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●					○	・試行運用を踏まえて松江歴史館で本格運用が定着した。	・同志社大学との連携をより強め、さらに幅広く松江市の豊富な文化財のデジタル活用を進めるための方針作りが必要。 ・文化財デジタルアーカイブ構築事業と統合し、デジタル化を推進するとともに文化財情報をデータベース化し、より効率的に活用できるようにする必要がある。	103千円	指定文化財台帳をベースにデジタル化を検討中。	2,298千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
172	国宝松江城調査研究事業	調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を各種出版物の刊行などを通じて積極的に情報発信を行う。松本市、犬山市と共に、近世城郭天守群の世界文化遺産登録を目指して共同研究を進める。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●					○	<ul style="list-style-type: none"> ・4月14日に中国筋本城・支城検討会を開催した。 ・7月18日に城郭史部会を開催した。 ・10月6日に松江城調査研究委員会を開催した。 ・松江城調査研究委員会委員による個別調査を行った。 ・8月25日に近世城郭天守群での世界遺産登録推進に向けて、松江市・松本市・犬山市の市長と専門家が対面で意見交換を行った。 ・『松江城研究5』『松江城ブックレット7』『松江城関係資料集5』を発刊した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録を見据えた世界的見地からの調査・研究が求められる。 ・松江城に関する調査研究レベルの維持向上のための継続的な取組が必要。 ・市民の機運醸成が求められる。 	13,954千円	<ul style="list-style-type: none"> ・6月30日に松江城調査研究委員会を開催した。 ・松江城調査研究委員会委員による個別調査を行った。 	13,624千円
173	松江城・城山公園整備	城山公園の便益施設の更新や、公園の環境整備を行い、文化財・都市公園としての魅力向上を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●				<ul style="list-style-type: none"> ・興雲閣廊下柱及び内部壁修理工事 ・二之丸下ノ段休憩施設雨樋補修工事 ・本丸転落防止柵取替工事 	園路舗装や案内板など、老朽化している箇所の早期修繕が必要である。	10,946千円	二之丸井戸屋形柿葺替えに向けた工事調査を実施。	17,248千円	
174	松江城愛護活動支援事業	令和2年5月15日に設立された市民団体「松江城を守る会」の活動支援を行う。(同会活動方針:①松江城を守り伝える機運醸成活動、②松江城に関わる各団体のネットワーク化の促進)	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を概算払いして全額を精算済み。 	特になし	200千円	令和6年度から市からの補助金支出なし	-	
175	文化財関係書籍製作	松江の歴史・文化についてわかりやすく紹介する「松江市ふるさと文庫」の制作を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●				○	<ul style="list-style-type: none"> ・『松江市ふるさと文庫34「古代国家の形成と出雲国の誕生」』、『松江市ふるさと文庫35「旅するしまねの学生たち」』を刊行。 	より多くの方に読んでもらえるよう、PRの工夫が必要。	742千円	『松江市ふるさと文庫36』『松江市ふるさと文庫37』の原稿執筆	1,513千円	
176	松江城・城山公園管理運営	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・城山公園の管理・運営 ・大手前広場転落防止柵修繕 ・天守閣スポットライト取替 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・城山公園松くい虫防除樹幹注入 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者の安全確保が必要な修繕などは迅速に取り組むことが求められる。 ・城山公園内の樹木に対する検査を計画的に実施し、必要があれば伐採などの対応を行う必要がある。 	3,596千円	<ul style="list-style-type: none"> ・城山公園の管理・運営 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・二之丸上ノ段公衆トイレセンサー修繕 ・城山公園案内看板修繕 	5,825千円	
177	興雲閣管理運営	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による興雲閣の管理、施設の修繕 ・多目的便所便座修繕 ・カーテンクリーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者の安全確保が必要なものは迅速に取り組むことが求められる。 ・壁の塗装の剥がれが酷く、平成27年度の改修工事から9年が経過しているため、塗替などを検討する必要がある。 	704千円	指定管理者による興雲閣の管理、施設の修繕	660千円	
178	松江歴史館管理運営	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・松江歴史館の入館者数は104,049人、観覧者数は48,647人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 ・松江歴史館ニュースレター「MATSUR EKI」を2回刊行した。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を11回行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者に比べて、観覧者は半数以下にとどまっている。観覧につなげるイベントなどを検討する必要がある。 ・初めての来館者が多い。何度も利用してもらえよう取組が必要である。 ・松江おもしろ談義などの講座について、参加者は比較的年齢層が高い。幅広い世代の方に参加してもらえるような広報等が必要である。 ・松江城授業プロジェクトなど、小学生の学習機会の提供には寄与できているが、中学生以上の学生に対する取組みができていない。 	98,641千円	<ul style="list-style-type: none"> ・7月末時点での松江歴史館の入館者数は43,377人、観覧者数は14,030人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を4回行った。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を5校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を2回行った。 ・名誉館長講座を4回行った。 	92,493千円	
179	松江歴史館資料取得事業	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●			○	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の寄贈・寄託・資料の購入を行った。(寄贈資料28件、寄託資料11件、購入資料3件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な資料でも予算に限りがあり購入できないケースもある。 ・購入のための基金は減っていく一方であるため、財源を確保していく必要がある。 	947千円	資料の寄贈・寄託を行った。(寄贈資料2件、寄託資料2件)	2,610千円	
180	松江歴史館調査・研究事業	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●				○	<ul style="list-style-type: none"> ・『松江歴史館研究紀要 第12号』の制作を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示開催までに、十分な調査・研究の期間や費用の確保が必要である。 	721千円	『松江歴史館研究紀要 第13号』の制作を行っている。	903千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える					
181	松江歴史館展示企画事業	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・4回の企画展を行った。 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外一往來する禅と書画」 ②企画展「松江市小学校開校150年 みんなの小学校150年のあゆみ」 ③特別展「漆壺齋と勝軍木庵ー花開く松江の漆文化ー」 ④館藏品展「明治時代のサムライたちー松江藩士の行く末ー」 	・県外からの観覧者が増えてきたこともあり、江戸時代を中心とした松江の歴史について展示している基本展示のみの観覧者の割合が高い。県外の人にも企画展を観覧してもらえるような広報・周知等が必要である。	15,389千円	7月末時点で2つの展覧会を実施している。 ①企画展「神々の美術ー出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」	18,386千円
182	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は6,155人だった。 	・次回のホーランエンヤ開催に向けて、機運を高める取組みも必要である。市内の学校へ伝承館の観覧を促すなど、長期的に計画を立て取組む。	4,934千円	・7月末時点での松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は2,133人だった。	5,932千円	
183	ふるさと教育推進事業	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。 	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性等について、再確認していく必要がある。	4,030千円	・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施中。	4,030千円	
184	「ふるさと松江」学習推進事業	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。 	・配布資料はタブレットや電子黒板で適切に表示され、学習資料として役立っている。今のところ課題はない。内容等を大幅に変更する年度では、検討が必要である。	0千円	・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	66千円	
185	総合的・体験的な学習充実事業	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の計画に沿って、順調に実施されている。 	学校規模によって校外学習への取り組みやすさに違いがあり、配分する金額の調整が難しい。物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。	1,765千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	
186	歴史が結ぶサマースクール事業	市内の小学校と義務教育学校の6年生(希望者)を対象に、「堀尾吉晴公」生誕の地である愛知県大口町(姉妹都市)を訪問し、ゆかりの地等をめぐりながらふるさと松江との歴史的なつながりを体感する体験的な学習プログラムを実施する。	教育委員会			●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・8月24日の大口町児童の訪問にあわせて、松江市の児童との交流を実施。大口町訪問・交流は12月9日～10日に実施。訪問児童による成果報告会を2月17日に実施。 	リーダー育成の観点から、児童同士の交流や訪問、成果報告会等の内容について、更に検討していく必要がある。	1,964千円	・11月9日の大口町児童の訪問にあわせて、松江市の児童との交流を実施予定。大口町訪問・交流は12月7日～8日に実施予定。訪問児童による成果報告会を2月15日に実施予定。	2,210千円	
187	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業	学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図るほか、「松江城授業プロジェクト」と称し、ふるさと教育の充実を図るため、市内すべての小学校と義務教育学校の6年生が「松江城」「松江歴史館」に実際に行って本物を体験する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・12月までにすべての学校が実施済。 	・天候不良や感染症のため、見学日時を変更した学校が3校あった。バスの手配等、臨機応変な対応が今後も必要である。	3,192千円	・一学期に実施予定の5校はすべて予定通り見学が行われ、順調である。	4,673千円	
188	美保関歴史生活体験資料館運営事業	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小中学生等の体験学習の受け入れを行っている 利用件数 10件 利用者数 292人 	・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある	2,082千円	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会	2,385千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える					
【柱2】地域に根づく伝統文化																			
事業数23事業(うち、新規事業4事業)																			
201	中海振興事業	中海や中海周辺における文化振興、水産振興、農業振興などに取り組むため策定した「松江市中海振興ビジョン」を推進し、中海周辺の地域振興に取り組む。併せて、中海振興多目的施設(なかうみスカイポート)の利用促進を図るもの。	政策部			●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 中海振興ビジョン掲載事業の進捗管理を行った。 施設利活用策の検討のため、カヌー・ヨット体験(9/2.3)による実証実験を実施。 野鳥観察会(2/17)を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 中海振興ビジョン掲載事業について具体的に取り組みを進めていただくことが必要。 当該施設を利用した実証実験を行い施設の活用策を検討していくことが必要。 	3,693千円	<ul style="list-style-type: none"> 中海振興ビジョン掲載事業のR6年度の当初予算額と新規事業の照会を行い、進捗管理を行った。 施設利活用策の検討のため、カヌー・ヨット体験(9/7.8)とSUP体験(9/21)による実証実験を実施予定。 野鳥観察会を実施予定。(開催日未定) 	1,506千円
202	地域花火実証事業	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部			●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 松江市内で開催する地域の花火大会を支援し、地域の賑わい創出や地域コミュニティの維持に対してもたらす効果等を検証する。 補助対象経費の10分の10以内の額(未滿切捨て)とし、200。 13件申請。13件交付決定。 	<ul style="list-style-type: none"> 周知が行き渡らず、目標申請数に達しない。 	2,580千円	<ul style="list-style-type: none"> 現在14件申請。14件交付決定。 補助対象経費の10分の10以内の額(未滿切捨て)とし、1団体あたり200千円を上限とした。 	4,000千円	
203	全国椿サミット開催事業	椿の魅力を再確認して椿による地域振興のために、令和6年3月9・10日に第34回全国椿サミット松江大会を開催する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 3月9日・10日の2日間で開催し、延べ4,000人の方にご来場いただいた。 全国椿サミット松江大会特設ホームページを開設し、ホームページ上ではサミット関連情報を掲載するとともにフォトコンテストの募集を実施した。 各種事業者や市民団体との連携による、当日一般来場者向けイベント等も行った。(椿菓の開発・販売、椿をモチーフにした工芸作品の展示・販売、椿関連商品のPR・販売、文化体験イベントなど) サミットの認知度向上のため、タレントの「椿鬼奴」氏を招いたイベントを興雲閣にて開催した。 	引き続き関係者と協力しながら、市花である椿の振興に取り組んでいく必要がある。	9,193千円	-	-	
204	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたく青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭撃行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国椿サミット松江大会 	令和5年度は12本の動画を作成したが、1本あたりのYouTube再生回数が約185回であり、多くの方に見ていただくことができなかった。	1,452千円	今年度、最初の動画の公開を8月末としているため、現時点では再生回数の実績はない。今年度は、中海圏域の若者をターゲットにしたSNS広告を実施することとしている。	2,452千円	
205	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 12の教室を開催し、計390人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 受託事業者と実施依頼先との調整において、依頼先から委託者への問い合わせが多く、受託者は依頼先への十分な説明を行う必要があるとともに、委託者へ必要な情報提供を行う必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ホームページに掲載するだけでは活用団体が増えないことから、自治会等への声掛けを継続する必要がある。 	4,489千円	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 プロポーザル実施により、日本旅行Tis松江支店を受託業者として選定した。提案内容について改めて打合せの場を設け、8月上旬の契約に向けて準備している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 1つの団体から補助金申請を受けた。 	4,763千円	
206	郷土芸能継承発展事業	地域伝統芸能祭の開催や保存団体などの支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 本市の伝統行事の保護育成を目的とする「松江市伝統芸能文化保護育成協議会(加盟23団体)」に対し、啓発・発信にかかる取り組みや後継者の確保・育成に繋がる事業等の活動支援を実施。 令和5年7月27日に代表者会議を実施した。 加盟団体の活動内容等をPRするため、各加盟団体を紹介するパンフレットを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体間の連携強化 	920千円	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年7月3日に代表者会議を実施した。 加盟団体PRのパンフレット内容を修正するため、打合せを行った。 	3,720千円	
207	佐陀神能用具等修理・新調事業【再掲】	佐陀神能で使用している面、衣装、用具等の老朽化が激しいことから、佐陀神能保存会が行う、文化庁の補助金を活用した修理・新調事業の支援をする。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 「佐陀神能民俗文化財調査報告書(令和2年度)」をもとに、令和3年度から佐陀神能保存会が実施する修理・新調事業に対し支援を実施。令和5年度は3か年事業の最終年の予定であったが、文化庁補助事業分のうち3面の完成が間に合わないため、令和6年度に繰り越して実施をする。 ■文化庁事業分 当初は計6点(面:6点)の復元新調を予定。うち3点は完成。残りの3点は令和6年度に繰り越して実施。 ■松江市単独事業分 計52点(衣装:41点、道具:11点)の復元新調した。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具等の復元新調は概ね順調に進捗しているものの、実際に佐陀神能を継承していく人材をどのように確保していくかが課題。 	440千円	<ul style="list-style-type: none"> 今年度完成予定だった面3点について、復元新調が完了し、8月上旬に文化庁による現地指導を予定している。 	448千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
208	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定 	・「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知度が低く、認知向上を図る必要がある。	210千円	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月下旬開催予定 ■7月29日～8月31日まで「松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート」を実施中 ■「松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画」を策定予定 	1,261千円
209	郷土行事等振興事業	松江祭藝行列及び菊花展を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○	<ul style="list-style-type: none"> 【藝行列】 ・10月15日に「松江祭藝行列」、前日の14日には前夜祭として「宵宮」を開催した。今年度は、コロナで中止となっていた「餅まき」や「フォトコンテスト」を開催した。 参加団体:16団体 参加者数:1,700人 観覧者数:約85,000人 ・藝行列保存会へ補助金交付。 ・藝まつり開催補助金を支出。 ・町内・団体への修繕補助金を、4町内・団体に交付。 【菊花展】 ・10月28日～11月12日にかけて、松江城馬溜り広場にて開催。昨年度に引き続き、松江農林高校からの出品や、初めてとなる大根島牡丹とのコラボ展示を実施した。 出品数:約500鉢 来場者数:約71,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 【藝行列】 ・各町内が工夫を凝らす努力を行いつつも、伝統的に守るべき作法や考え方について理解し取り組む必要がある。前後の町内での時間差が生じやすく、スムーズな進行になるよう、各町内で時間の意識を持つ。 各町内の子供の参加数の減少。 【菊花展】 ・強風で菊が倒れないように、風よけの位置を考えて配置する。 ・猛暑・水(雨)不足が続き、当日までに良い状態を作ることが年々難しくなっている。 ・開催期間中の観光客向けのPRに力を入れる。 	13,119千円	<ul style="list-style-type: none"> 【藝行列】 ・4/15 3者会議を開催 ・4/22 常任理事会を開催 ・5/27 理事会を開催 ・6/13 警察協議を実施(交通) ・7/4 ポスター検討会議を開催 ・7/26 新庁舎ショーケースにPR展示 ・藝行列保存会へ補助金交付 ・藝まつり開催補助金を支出 【菊花展】 ・5/14 松江菊花会春季総会を開催 ・各後援団体へ後援依頼を発信 	13,454千円
210	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○	子ども向けカヤック体験イベントや「ジオパークの日」のイベント等をはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値を達成できた。	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、今後も入込客数を増やしていく必要がある。	10,713千円	8月から本格的にイベント等を開催する計画であり、入込客数を増加するため着実に業務をすすめていきたい。	10,935千円
211	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。 	・まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施だけでは厳しい。	1,100千円	・R6年度前半は、3地区で合計71名の参加があった。応募総数は3地区合計132名。 ・まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施には限りがある。公民館等の各地域主体のまち歩きの参加者数を報告してもらうなどとして、全体の参加者人数の増加を目指す。	1,130千円
212	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●					○	・松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は6,155人だった。	・今回のホーランエンヤ開催に向けて、機運を高める取組みも必要である。市内の学校へ伝承館の観覧を促すなど、長期的に計画を立て取組む。	4,934千円	・7月末時点での松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は2,133人だった。	5,932千円
213	郷土行事等振興補助金	地域の活性化と地域住民の親睦と郷土愛を育み、豊かなまちづくりに資するため各種イベントを計画実施する実行委員会に対し、助成を行う。 ・恵曇伝統行事 ・御津みなど祭り	市民部			●	●	●	●	●					○	<ul style="list-style-type: none"> 【恵曇伝統行事】 まだコロナ感染者が出ているため神事以外の行事は中止となった。 【御津みなど祭り】 R5から観光部で支援。 	特になし	744千円	【恵曇伝統行事】 実施予定	202千円
214	郷土民謡振興補助金	正調「関乃五本松節」を保存するとともに普及・振興に努め、文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている関乃五本松節保存会に補助金を交付する。	市民部		●	●	●	●	●	●					○	<ul style="list-style-type: none"> ・5月から10月の間、後継者育成事業として、美保関中学校にて、ふるさと教育を15回実施した。 ・11月11日に、関乃五本松節保存会創立100周年記念事業を開催し、新しい歌詞の特選発表及び表彰並びに披露を行った。 	・次世代への文化の継承及び指導並びに育成が課題である。	1,500千円	・後継者育成事業として、美保関中学校にて、ふるさと教育を実施中。 ・師範資格審査会の実施。	1,000千円
215	地域伝統文化継承推進	学校教育において、卒業する児童・生徒に地域に伝わる古き良き伝統や文化に触れる機会を提供することにより、伝統や文化への関心を高めるとともに、それらを大切にしようとする心を育み、かつ地域伝統の継承を図ることを目的として、卒業するもの自らが、地域に伝わる紙すきを行い、卒業証書を作成する。	市民部		●	●	●	●	●	●					○	・八雲小・八雲中卒業生120名が10月と11月に自らの卒業証書の紙すきを行った。	特になし	287千円	・八雲小・八雲中卒業生125名が10月と11月に自らの卒業証書の紙すきを行う予定。	303千円
216	宍道地域郷土行事等振興補助金	松江観光協会宍道町支部(主に実行委員会方式)が実施または支援する『宍道夏祭り協賛事業』、『宍道そば祭り』、『さまち川まつり』等に対する事業に補助金を交付する。	市民部		●	●	●	●	●	●					○	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスも第5類となり、宍道れんげ祭(湖上花火等)を4年振りに露店も出店する中、盛大に開催できた。 ・さまち川まつりについては、宍道鼓動芸術祭のオープニングイベントとして実施されたため、他の補助金で支援された。 ・宍道そば祭りは廃止となった。 	新型コロナウイルス発生以前の花火打上数は約2,400発(2,400千円)であったが物価高騰の煽りを受け約1,700発(2,400千円)にまで減少した。次年度に向け如何に打上げ数増の財源を確保するかが課題である。	2,335千円	・宍道れんげ祭(湖上花火)は前年より500発打上げ数を増す中で開催し観覧者からは喜びの声があがった。また、露店も出店する中、盛大なお祭りが開催できた。	2,335千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した					
217	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●						○		・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。 各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性等について、再確認していく必要がある。	4,030千円	・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施中。	4,030千円
218	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●						○	・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。 ・配布資料はタブレットや電子黒板で適切に表示され、学習資料として役立っている。今のところ課題はない。内容等を大幅に変更する年度では、検討が必要である。	0千円	・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	66千円	
219	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●						○	・各校の計画に沿って、順調に実施されている。 学校規模によって校外学習への取り組みやすさに違いがあり、配分する金額の調整が難しい。物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。	1,765千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
【柱3】市民生活に根づく茶の湯文化																				
事業数28業(うち、新規事業4事業)																				
301	職業体験イベント開催支援事業	子どもを対象に、和菓子職人によるデモンストラーションや八雲塗りの絵付け体験などを行う職業体験イベントの開催を支援する。	産業経済部													子ども向け職業体験イベントを開催 ・イベント名:おしごと体験KIDSフェス ・開催日:11月19日(日) ・会場:松江市総合体育館 ・対象:小学3年生~6年生 ・参加者:約700人	特になし	8,000千円	4/10 松江商工会議所と事業実施に向けて協議 5/10 松江商工会議所と実施内容・進捗について協議 6/3 松江商工会議所ほか関係者との協議 6/25 関係者とともに山口市(先進自治体)への事業運営内容のヒアリング 7/4 第1回実行委員会 開催	10,000千円
302	松江そば文化ブランド化推進事業	「松江の出雲そば」の歴史や文化を広くPRすることで認知度向上を図り、ブランド化を進めることで、観光誘客や地元産そばの生産拡大を目指す。	産業経済部													・10/23 松江そば文化スランド化推進協議会総会開催 ・現代版「連」の充実と検証(3回開催) ・「松江松平そば」の更なるブランド化の検討(共通メニューの検討) ・「出雲そば」講座(11/14東京) (日本蕎麦保存会Webサイトでの発信) ・そば店向けSNSセミナー(1/15) 市民向けセミナー(2/10) インフルエンサーによるSNS発信(2月)	・松江松平そば共通メニューについて、全てのそば店が対応可能なメニューを継続して検討する。	1,750千円	7/11 松江そば文化ブランド化推進協議会総会開催 ・令和6年度(予定)「献そば式」の開催 「連」の開催・参加者の組織化 県外イベント参加 「松江松平そば」PR強化 など	1,000千円
303	職人商店街創出事業	中心市街地に、松江が誇る漆器、陶器、民芸紙、めもの細工などの伝統工芸店や、和菓子づくり、茶の湯、そば打ちなどが体験できる飲食店が軒を連ね、優れた職人の技とまちの活気が感じられる賑わいの拠点の創出を目指す。	産業経済部													・職人商店街創出支援事業補助金(申請件数)1事業者 (交付決定額)1,014千円 (新規相談)1件 ・職人商店街創出支援事業トライアル補助金(申請件数)2事業者 (交付決定額)1.5千円 ・工芸作家へのアンケート調査 市内10人の工芸作家へまちなか出店に関するアンケートを実施 ・二次交通手段の検討をするために実走実験を行った	・工芸作家は、既に工房を構えている方が多く、中心市街地への出店へのハードルが高い。 ・出店を検討している作家の掘り起こしが必要。 ・職人商店街店舗が中心市街地エリア内に点在していることから、その間をつなぐ二次交通が不足している。	1,607千円	・職人商店街創出支援事業補助金(申請件数)2事業者 (交付決定額)1,072千円 ・職人商店街創出支援事業トライアル補助金(申請件数)1事業者 (交付決定額)313千円 ・職人商店街二次交通支援事業補助金(申請件数)1事業者 (交付決定額)600千円 ・職人商店街アグリ導入支援事業補助金(申請件数)1事業者 (交付決定額)1,000千円 ・工芸作家へのアンケート調査 市内10人の工芸作家へまちなか出店に関するアンケートを実施	12,500千円
304	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出を図る。	産業経済部													・島根県唯一の百貨店が閉店となり、大型の工芸品展示会場を失った。 ・「丘のクラフト展」を10月に開催。 ・クラフトフェア「CRANUMA(クラヌマ)」は、12月に市役所新庁舎で開催。出店者35組、来場者数約2,600名。新型コロナウイルスが5類に移行し、外出需要の増加に伴い来場者数は大幅に増加したが、物価高騰の影響もあり販売額の積み上げには繋がらなかった。	・個々で活動していることから地域産業としての認知度が低い松江市工芸としてのブランディングと発信が必要。 ・展示販売する場所が市内にないため認知されず経済的に厳しいため、知ってもらい、買ってもらう場の増加が必要。	4,900千円	・いろは舎での販売、中心市街地トライアルスペースでの販売により、工芸品販売額が積み上がっている。 ・今後、複数のクラフトフェアを予定しており、更なる売上確保を見込む。 ・また、R6年10月にリニューアルオープンするカラコ工房での常設販売や、工芸品展示販売等を予定している。	512千円
305	地域ブランドPR・販路拡大対策事業	首都圏において松江市の特産品の販売や工芸品の展示等を通して、広く「松江市」をPRするとともに、観光誘客や産品の販路開拓・消費拡大に繋げていく。	産業経済部													首都圏における松江特産品フェア(令和5年10月3-4日)を開催し、実績として来場者2800人・総売上290万円を記録した。	・PR、販売活動後のフォローアップ(店舗、ECサイトやふるさと納税での継続的な商品購入促進)。	1,374千円	大阪市における松江特産品フェア(11月1-3日)の開催に向けた準備。	1,787千円
306	地域ブランド産地育成事業	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	産業経済部													・【そば】作付け面積118ha 天候等での影響は少なく、昨年より収量は多く、48.9tの収穫量であった。 ・【大豆】作付け面積41ha 高温が続いた影響で、収量が減少する結果となった。 ・【西条柿】 高温の影響で、小玉傾向となり販売額が減少した。	・【そば】天候の影響が大きく、収量と質が不安定。作付け面積の減少。 ・【大豆】作付け面積の減少。 ・【西条柿】国内外の消費者への販路の拡大。	8,472千円	・【そば】作付け面積100ha 農家数減少により作付け面積は減少する見込み(令和6年7月) ・【大豆】作付け面積42ha 台風等の影響はあまり見られず、順調に生育中(令和6年7月) ・【西条柿】生産戸数の減少や高温が続いた影響で、例年より収量が減少する見込み(令和6年7月)	6,490千円
307	松江市伝統産業支援事業	市内事業所に従事する優秀な技能者を表彰する。	産業経済部													・選考委員の任期が2年間(令和3年10月~令和5年9月)であったため、前任期と同数の10名を新たに委員として委嘱した。 ・令和5年11月に松江市手作り産業優良技能者表彰式を実施し、今年度は功労賞1名、奨励賞4名の計5名を表彰した。 ・表彰者の作品を以下のとおり展示した。 ・中央図書館エントランスホール 令和5年11月~令和6年1月 ・新庁舎市長室横ショーケース 令和6年2月~4月	推薦者を提出される団体に偏りがある。提出の少ない推薦団体の会員の中で、推薦を受けるべき方が埋もれている可能性があることを危惧。当取り組みを認知し、推薦するべきかの判断をしているのか調査が必要。	419千円	・7月29日付で市内各推薦団体に対しR6年度表彰者の推薦を依頼。それに合わせてアンケートを送付し、組合員への周知方法や推薦依頼時期が適当であるか等を調査した。	531千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
308	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭藝行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国権サミット松江大会 	令和5年度は12本の動画を作成したが、1本あたりのYouTube再生回数が約185回であり、多くの方に見ていただくことができなかった。	1,452千円	今年度、最初の動画の公開を8月末としているため、現時点では再生回数の実績はない。今年度は、中海圏域の若者をターゲットにしたSNS広告を実施することとしている。	2,452千円
309	全国権サミット開催事業【再掲】	権の魅力を再確認して権による地域振興のために、令和6年3月9・10日に第34回全国権サミット松江大会を開催する。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 3月9日・10日の2日間で開催し、延べ4,000人の方にご来場いただいた。 全国権サミット松江大会特設ホームページを開設し、ホームページ上ではサミット関連情報を掲載するとともにフォトコンテストの募集を実施した。 各種事業者や市民団体との連携による、当日一般来場者向けイベント等も行った。(権菓の開発・販売、権をモチーフにした工芸作品の展示・販売、権関連商品のPR・販売、文化体験イベントなど) サミットの認知度向上のため、タレントの「権鬼奴」氏を招いたプレイイベントを興雲閣にて開催した。 	引き続き関係者と協力しながら、市花である権の振興に取り組んでいく必要がある。	9,193千円	-	-
310	明々庵及び赤山茶道会館保存活用事業	明々庵及び赤山茶道会館について、老朽化、故障した施設を、計画的に修繕する。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 明々庵外壁塗装修繕工事等、施設の適切な管理に向けて、現状把握、県文化財課との協議等を実施し、工事を実施した。四ツ目垣等の工事について、年度内完了予定である。 	明々庵の茅葺屋根補修工事について検討する。R6年度に補助金を申請し、R7年度から着工できるよう準備をすすめる。	2,466千円	<ul style="list-style-type: none"> R6年度は松陽庵の屋根補修工事やF1・F2の土壁補修工事を実施した。 明々庵の茅葺屋根補修工事について準備を進めている。 	-
311	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 12の教室を開催し、計390人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 受託事業者と実施依頼先との調整において、依頼先から委託者への問い合わせが多く、受託者は依頼先への十分な説明を行う必要があるとともに、委託者へ必要な情報提供を行う必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ホームページに掲載するだけでは活用団体が増えないことから、自治会等への声掛けを継続する必要がある。 	4,489千円	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 プロポーザル実施により、日本旅行Tis松江支店を受託業者として選定した。提案内容について改めて打合せの場を設け、8月上旬の契約に向けて準備している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 1つの団体から補助金申請を受けた。 	4,763千円
312	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催 ■令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定 	「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知度が低く、認知向上を図る必要がある。	210千円	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月下旬開催予定 ■7月29日～8月31日まで「松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート」を実施中 ■「松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画」を策定予定 	1,261千円
313	明々庵及び赤山茶道会館管理運営	松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営を行っている。 利用者数:15,736人 	<ul style="list-style-type: none"> 海外や県外客の入込みが増えているものの、市民からの知名度は低い事が課題となっている。周辺施設や地域との連携を図り、施設の新たな活用を検討する必要がある。 	12,046千円	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営を行っていただいている。 利用者数:4,295人(7月末時点) 	17,880千円
314	茶の湯文化振興	茶の湯の日イベント、茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する「松江藩ちやのゆの学校」、食文化シンポジウムなどを開催する。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 4月22日及び23日、10月21日及び22日にイオン松江店で茶の湯体験と和菓子づくり体験、和菓子販売を開催し、4月は708人、10月は735人が参加した。 4月24日にかけて、学校給食で抹茶特別メニュー(抹茶プリンなど)を提供した。 「松江城大茶会」を10月28日、29日の2日間開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市は、日本三大和菓子どころに数えられ、松平不昧公以来の茶の湯文化が根付いたまちであるが、ライフスタイルの変化等により、茶の湯文化に親しむ機会が減少しており、次世代への茶の湯文化の継承が課題となっている。 	2,807千円	<ul style="list-style-type: none"> 4月13日、14日にイオン松江店で茶の湯体験と和菓子づくり体験、和菓子販売を実施し、計693人が参加した。 4月24日の前後に学校給食で抹茶を使用した特別メニュー(抹茶羊羹など)を提供した。 茶道体験をしていただく「ちやのゆの学校」を2団体が体験した。 	3,391千円
315	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人財育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けカヤック体験イベントや「ジオパークの日」のイベント等をはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値を達成できた。 	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、今後も入込客数を増やしていく必要がある。	10,713千円	8月から本格的にイベント等を開催する計画であり、入込客数を増加するため着実に業務をすすめていきたい。	10,935千円
316	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部												○	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。 	まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施だけでは厳しい。	1,100千円	<ul style="list-style-type: none"> R6年度前半は、3地区で合計71名の参加があった。応募総数は3地区合計132名。 まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施には限りがある。公民館等の各地域主体のまち歩きの参加者数を報告してもらうなどして、全体の参加者人数の増加を目指す。 	1,130千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
317	史跡及び名勝菅田庵維持管理【再掲】	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・令和4年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	特になし	4,215千円	・令和5年度と同様に、管理団体として追加指定地の維持管理を実施している。	4,616千円
318	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・松江歴史館の入館者数は104,049人、観覧者数は48,647人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 ・松江歴史館ニュースレター「MATSUR EKI」を2回刊行した。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名譽館長講座を11回行った。	・入館者数に比べて、観覧者は半数以下にとどまっている。観覧につなげるイベントなどを検討する必要がある。 ・初めての来館者が多い。何度も利用してもらえよう取組みが必要である。 ・松江おもしろ談義などの講座について、参加者は比較的年齢層が高い。幅広い世代の方に参加してもらえよう取組みが必要である。 ・松江城内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を2回行った。 ・名譽館長講座を4回行った。	98,641千円	・7月末時点での松江歴史館の入館者数は43,377人、観覧者数は14,030人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を4回行った。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を5校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を2回行った。 ・名譽館長講座を4回行った。	92,493千円
319	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・資料の寄贈・寄託・資料の購入を行った。(寄贈資料28件、寄託資料11件、購入資料3件)	・貴重な資料でも予算に限りがあり購入できないケースもある。 ・購入のための基金は減っていく一方で、財源を確保していく必要がある。	947千円	・資料の寄贈・寄託を行った。(寄贈資料2件、寄託資料2件)	2,610千円	
320	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展示会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・4回の企画展を行った。 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外一往來する禅と書画」 ②企画展「松江市小学校開校150年 みんなの小学校150年のあゆみ」 ③特別展「漆斎斎と勝軍木庵ー花開く松江の漆文化ー」 ④館蔵品展「明治時代のサムライたちー松江藩士の行く末ー」	・県外からの観覧者が増えてきたこともあり、江戸時代を中心とした松江の歴史について展示している基本展示のみの観覧者の割合が高い。県外の人にも企画展を観覧してもらえよう取組みが必要である。	15,389千円	7月末時点で2つの展示会を実施している。 ①企画展「神々の美術ー出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」	18,386千円	
321	伝統工芸品育成事業	松江市の伝統的工芸の振興に関する事業(八雲町伝統的和紙製造技術の伝承、普及)を支援し、伝統的工芸の普及と育成を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・ワークショップを年5回実施した。市民の方に紙漉きをしてもらい、その和紙にシルクスクリーン印刷するワークショップを行った。	特になし	406千円	・ワークショップ2回開催し、自分で漉いた紙に自分で選んだ材料で書道を行ったりシルクスクリーン印刷を行った。 ・材料のドロアオイを農福連携で栽培を行っている。 ・国際観光課の協力を得て個人観光客を誘致している。	406千円	
322	宍道地域伝統工芸品育成事業	宍道地域で主に生産される、国の指定する伝統的工芸品「来待石灯ろう」産業の振興のため、来待石灯ろう協同組合が行う新製品開発、展示会参加費、後継者育成等に補助を行い地域の伝統産業の発展を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・鳥根県産業技術センターと共同で来待石のヒートアイランド対策の効果を継続して研究中。 ・小中学校での職人指導による体験は、7月に安来市赤屋小で実施。9月、10月、11月、2月に市内小学校及び高校でも実施予定。 ・伝統的工芸品産業振興協会主催の「匠市」で新商品を出展。 ・松江市ふるさと納税の商品を3点追加登録。 ・4月に松江市へ海外への灯ろう輸出について面談及び報告。	・組合員の高齢化 ・組合員及び加盟店の減少 ・物価高騰の影響を商品価格に反映しづらい。	249千円	・阪急うめだ本店で開催された「進化する伝統「暮らしを彩る匠の技」」に出展 ・鳥根県産業技術センターとの共同での来待石のヒートアイランド対策実験は継続中 ・10月、11月に市内小学校で職員指導による体験実施予定 ・10月に来待ストーンで開催予定のイベントに来待石製品を配布しPRを行う	249千円	
323	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性等について、再確認していく必要がある。	4,030千円	・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施中。	4,030千円	
324	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを上げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。	・配布資料はタブレットや電子黒板で適切に表示され、学習資料として役立っている。今のところ課題はない。内容等を大幅に変更する年度では、検討が必要である。	0千円	・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	66千円	
325	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	・各校の計画に沿って、順調に実施されている。	学校規模によって校外学習への取り組みやすさに違いがあり、配分する金額の調整が難しい。物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。	1,765千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円	
326	出雲かんべの里運営事業	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理利用者数61,832人(民話館7,875人、工芸館47,154人、かんべ茶屋6,803人)	民話館は、パネル展示をはじめ、映像機器の故障等の課題があるため機器の修繕等を検討する必要がある。	41,880千円	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理利用者数43,027人(民話館4,218人、工芸館36,329人、かんべ茶屋2,480人)	42,600千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える					
412	小泉八雲旧居管理運営【再掲】	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:29,656人 	<ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・施設の非公開部分の活用に向けた整理をする必要がある。 	4,552千円	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:12,854人(7月末時点) 	5,687千円
413	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・企画展「アイルランド・日本交流美術展『KWAIJAN—ラフカディオ・ハーンとの邂逅』(令和5年6月27日～9月24日)、小泉清—その生涯とコレクション展(10月6日～)開催 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:64,952人 	<ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・2016年のリニューアルオープン以降7年が経過し、展示映像音響設備のオーバーホール等実施する必要がある。 	21,043千円	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:27,034人(7月末時点) 	35,318千円
414	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知度が低く、認知向上を図る必要がある。 	210千円	<ul style="list-style-type: none"> ■審議会 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月下旬頃開催予定 ■7月29日～8月31日まで「松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート」を実施中 ■「松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画」を策定予定 	1,261千円
415	スピーチコンテスト事業	松江を世界に紹介した文豪・小泉八雲の偉大な業績をたたえ、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・9月24日「第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」を開催。(参加者:ジュニアの部19名/シニアの部10名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の基礎英語・英会話力が高くなっており、英語に普段触れない生徒たちとのレベル差が、参加検討のネックとなっている。 ・参加人数の減少(特にシニア) 	1,513千円	<ul style="list-style-type: none"> ・後援、要項・ポスター作成、審査員の依頼 ・ホームページへ情報掲載(募集開始) ・県内外の各学校へ要項・ポスター配布 ・6/27、7/2 校長会で周知 ・7/19八雲会、審査員長と打合せ 	1,117千円
416	顕彰団体育成補助金	小泉八雲の顕彰団体である八雲会が行う機関紙「へるん」の発行事業に対し、補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を交付した八雲会が機関紙「へるん」を発刊した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知活動 	110千円	<ul style="list-style-type: none"> ・八雲会が機関紙「へるんvol.61」を発刊 	110千円
417	作品普及事業	小泉八雲の作品を対象とする感想文、詩の募集を行うもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年1月5日を締切に、「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集を行った。 	小学生部門の	268千円	<ul style="list-style-type: none"> ・後援、チラシ作成の依頼 ・ホームページへ情報掲載 ・県内外の各学校、施設へチラシ配布 ・6/27、7/2 校長会で周知 ・7/30 FM山陰でラジオ放送 	292千円
418	子ども塾スーパーへるんさん講座事業	八雲に学び、松江や日本の文化を五感で感じるにより、子どもたちならではの視点での「松江」の新たな魅力の発見・創出につなげる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・古江小学校で、子ども塾スーパーへるんさん講座を全4回にわたり開催した。(受講児童数 42名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・古江小学校については、継続的に受講の希望をいただいているが、その他の学校にも受講を希望していただくために、継続的に魅力を伝えていく必要がある。 	142千円	<ul style="list-style-type: none"> ・古江小学校の4年生を対象に、全4回にわたる講座を開催する予定。 第1回:7月11日(木)※実施済み 第2回:9月10日(火) 第3回:9月17日(火) 第4回:未定 	296千円
419	朗読のしらべ開催事業	松江市出身の俳優・佐野史郎氏の朗読とギタリスト・山本恭司氏の音楽により小泉八雲の作品の世界観を表現するコラボプログラムを開催する。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・11月11日に松江テルサにおいて「朗読のしらべ」を開催し、144人が来場した。 	小泉八雲朗読のしらべの参加者の年齢層の約8割が50代以上の参加者であり、若者の参加が少ない。	1,318千円	<ul style="list-style-type: none"> 10月27日に来待ストーンで開催を予定している。今年度は、地元の宍道高校の生徒や有志団体が、来待石を活用して来場者に宍道の魅力をPRする予定となっている。 	1,069千円
420	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 ・12の教室を開催し、計390人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 ・受託事業者と実施依頼先との調整において、依頼先から委託者への問い合わせが多く、受託者は依頼先への十分な説明を行う必要があるとともに、委託者へ必要な情報提供を行う必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・ホームページ上に掲載するだけでは活用団体が増えないことから、自治会等への声掛けを継続する必要がある。 	4,489千円	<ul style="list-style-type: none"> 【松江の文化力体験推進事業】 ・プロポーザル実施により、日本旅行Tis松江支店を受託業者として選定した。提案内容について改めて打合せの場を設け、8月上旬の契約に向けて準備している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・1つの団体から補助金申請を受けた。 	4,763千円
421	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けカヤック体験イベントや「ジオパークの日」のイベント等をはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値を達成できた。 	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、今後も入込客数を増やしていく必要がある。	10,713千円	<ul style="list-style-type: none"> 8月から本格的にイベント等を開催する計画であり、入込客数を増加するため着実に業務をすすめていきたい。 	10,935千円
422	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の「お宝」を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白濁)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施だけでは厳しい。 	1,100千円	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度前半は、3地区で合計71名の参加があった。応募総数は3地区合計132名。 ・まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施には限りがある。公民館等の各地域主体のまち歩きの参加者数を報告してもらうなどして、全体の参加者人数の増加を目指す。 	1,130千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
423	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・企画展「海上の覇者 奥古墳群」を開催。 ・特別展「茶色い戦争がありましたー軍事郵便と鹿島の戦争」を開催。	特になし	12,952千円	・特別展『海と湖に生きた人々ー登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念ー』(10/5～)を開催に向け準備中。	11,627千円
424	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・春季企画展「福島窯と本船木窯～江戸期から続いた民窯～」を開催 ・夏季企画展「没後10年 松木倭帆のガラス展～玉湯町布志名が生んだ工芸作家～」を開催 ・秋季企画展「手仕事の美～暮らしのなかの布志名焼と生活道具～」を開催。	特になし	10,878千円	秋季企画展「松江藩の藩窯～雲善・永原窯を中心に」(10/23～)の開催に向け準備中。	11,910千円
425	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・松江歴史館の入館者数は104,049人、観覧者数は48,647人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 ・松江歴史館ニュースレター「MATSUR EKI」を2回刊行した。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 ・名誉館長講座を11回行った。	・入館者に比べて、観覧者は半数以下にとどまっている。観覧につなげるイベントなどを検討する必要がある。 ・初めての来館者が多い。何度も利用してもらえるような取組みが必要である。 ・松江おもしろ談義などの講座について、参加者は比較的年齢層が高い。幅広い世代の方に参加してもらえるような広報等が必要である。 ・松江城授業プロジェクトなど、小学生の学習機会の提供には寄与できているが、中学生以上の学生に対しての取組みができていない。	98,641千円	・7月未時点での松江歴史館の入館者数は43,377人、観覧者数は14,030人だった。 ・学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を4回行った。 ・市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を5校行った。 ・松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を2回行った。 ・名誉館長講座を4回行った。	92,493千円
426	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性等について、再確認していく必要がある。	4,030千円	・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施中。	4,030千円
427	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。	・配布資料はタブレットや電子黒板で適切に表示され、学習資料として役立っている。今のところ課題はない。内容等を大幅に変更する年度では、検討が必要である。	0千円	・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	66千円
428	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・各校の計画に沿って、順調に実施されている。	学校規模によって校外学習への取り組みやすさに違いがあり、配分する金額の調整が難しい。物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。	1,765千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円
429	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている 利用件数 10件 利用者数 292人	・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある ・運営ボランティアの高齢化による人手不足	2,082千円	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている 学習活動としての予約が数件	2,385千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度						六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える	予定どおり進捗した	予定どおり進捗しなかった					
【柱5】市民とともに育む文化芸術活動																					
事業数33事業(うち、新規事業1事業)																					
501	嫁ヶ島活用事業【再掲】	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・4月から7月まで、土・日・祝(荒天時除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した。 ・8月4日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。 ・9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中旬に「湖上茶会」を実施する予定。	・イベント認知度の向上	2,209千円	・4月から7月まで、土・日・祝(荒天時除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した。 ・8月4日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。 ・9月21日(日)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中旬に「湖上茶会」を実施する予定。	3,000千円
502	松江水燈路事業【再掲】	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・9月23日から10月15日までの土・日・祝に開催 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など。	・観光客誘致に向けたプロモーション不足 ・協力団体との調整不足	22,000千円	・9月28日(土)から10月20日(日)までの土・日・祝に開催予定。 ・市民の手作り行燈募集やワークショップ開催。 ・松江城周辺のライトアップ、市民の手作り行燈、堀川遊覧船夜間運航、屋台設置、松江城神楽実施、シャトルバス運行など予定。	22,000千円
503	松江武者行列事業	平成15年から堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城する様子を再現した市民参加型イベントとして開催。	観光部			●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・4月6日(土)に松江武者行列を開催。 ・お城まつりの期間中に「桜と武者のシーズン」と題し、武者行列に関連するイベント等の実施により、春シーズンの帯での誘客を行った。	・県外からの参加者数を増やす。 ・武者行列を目的とした誘客。	12,000千円	・4月6日(土)に松江武者行列を好天のもと開催した。沿道にも多くの見物客が見えた。 初めて当日参加者枠を設けた。	12,400千円
504	海の学苑ふるさと創生館管理運営	美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ)の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	海の学苑ふるさと創生館の管理運営を行った。	雨漏りや一部天井落下が発生しており、施設改善の検討が必要。	80,193千円	管理運営を実施している。施設の不具合箇所は現状調査を行う。	103,225千円	
505	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部				●	●	●	●	●	●	●	○	○	・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたく青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭警行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国榎サミット松江大会	令和5年度は12本の動画を作成したが、1本あたりのYouTube再生回数が約185回であり、多くの方に見ていただくことができなかった。	1,452千円	今年度、最初の動画の公開を8月末としているため、現時点では再生回数の実績はない。 今年度は、中海圏域の若者をターゲットにしたSNS広告を実施することとしている。	2,452千円	
506	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	【松江の文化力体験推進事業】 ・12の教室を開催し、計390人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	【松江の文化力体験推進事業】 ・受託事業者と実施依頼先との調整において、依頼先から委託者への問い合わせが多く、受託者は依頼先への十分な説明を行う必要があるとともに、委託者へ必要な情報提供を行う必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・ホームページ上に掲載するだけでは活用団体が増えないことから、自治会等への声掛けを継続する必要がある。	4,489千円	【松江の文化力体験推進事業】 ・プロポーザル実施により、日本旅行Tis松江支店を受託事業者として選定した。提案内容について改めて打合せの場を設け、8月上旬の契約に向けて準備している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・1つの団体から補助金申請を受けた。	4,763千円	
507	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催 ■令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定	・「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知度が低く、認知向上を図る必要がある。	210千円	■審議会 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月下旬頃開催予定 ■7月29日～8月31日まで「松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート」を実施中 ■「松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画」を策定予定	1,261千円	
508	中村元記念館活用事業	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・文書検索管理システム入力業務委託登録件数:4,073冊	引続き、文書検索管理システム入力業務にご尽力いただく	15,355千円	・業務委託先のNPO法人の高齢化、財政赤字などの課題があり、今後の施設のあり方を見直す必要が生じている。	15,724千円	
509	文化芸術振興事業	合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため、松江コーラルソサエティの活動を支援する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	【松江コーラルソサエティ育成事業】 ・本市の合唱レベル向上を目的とする松江コーラルソサエティの活動を支援した。 【KaTaCHII開催事業補助】 ・「伝統邦楽の魅力」を伝える舞台(令和5年5月開催)に地元高校生がコラボ出演するための補助を行った。 【松江国際映画祭準備経費】 ・1月13日～14日にかけて、先進地である尾道市の「第7回尾道映画祭2024」の視察を行った。	・合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るために今後も支援していく必要がある。	348千円	【松江コーラルソサエティ育成事業】 交付請求を受け、補助金交付	670千円	
510	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業	3年に1度開催する松江・森の演劇祭について、補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	・令和7年度開催予定の「第8回松江・森の演劇祭」に向けて、準備する必要があるため、松江・森の演劇祭実行委員会に補助金を支出した。	・市内外に対して、より一層情報発信を強化する必要がある。	5,000千円	・本市の合唱レベル向上を目的とする松江コーラルソサエティの活動を支援した	2,500千円	

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
511	市民音楽祭開催事業	松江市民音楽祭を主催する松江市民音楽団体連絡協議会へ補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・11月12日に鹿島文化ホールにて「第52回松江市民音楽祭」の開催。 出演団体:11団体 	持続可能な開催方法(収支)を検討する必要がある。	342千円	<ul style="list-style-type: none"> ・交付請求を受け、補助金交付 ・11月10日に「第53回松江市民音楽祭」をプラハホールにて開催予定 	342千円	
512	市民美術展開催事業	市民から芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・8月31日～9月4日に県立美術館で「第51回松江市民美術展」を開催した。 出品数…193点(前年比-4点) 来場者数…1,157人(前年比+96人) 	直近3年の来場者数は、R3年度940人、R4年度1,061人であり、ここ3年では一番多い来場者となった。一方で、10年前と比較すると来場数は約55%減少している。高校生の出品が若干増加しているものの、若い世代の出品者及び入場者が少ない。	2,243千円	<ul style="list-style-type: none"> ・「デザイン部門」を新設した。また、各部門に「コース賞」を創設するとともに、大学生年代の出品料を無料化することで、若い年代からの出品者数の増加を図った。 	2,398千円	
513	八雲林間劇場管理運営	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・指定管理事業として公演事業の実施。 ・市内小中学生を対象とした育成事業の実施。 ・海外劇団招聘による観劇の実施。 ・令和6年度からの指定管理事業の見直しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館利用が少ない。かやぶき交流館同様に、気軽に利用できる施設になるよう、広報活動に努める必要がある。 	16,561千円	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・指定管理事業として公演事業の実施。 ・市内小中学生を対象とした育成事業の実施。 	33,020千円	
514	文化協会事業	文化の振興のため、市民文化祭や文化イベント支援、文化情報誌「湖都松江」発行など各種事業を松江市民文化協会へ委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・総会を4年ぶりに対面で開催した。 ・9月の発行に向けて「湖都松江46号」の編集作業を進めている。 ・加盟団体助成金の支給を随時実施した。 ・インターネットによる文化情報の提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響は緩和されてきたが、年齢や加入人数の減少などを理由に退会する団体がある。 ・加入団体を見ると、若者が少ない。 ・団体の活動・発表の場の確保が必要。 	10,260千円	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に続き、総会を対面で開催した。 ・市報等の媒体を使い、PRしたことで3団体が新しく加盟した。 ・加盟団体助成金の支給を随時実施した。 ・インターネットによる文化情報の提供を行った。 	14,523千円	
515	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けカヤック体験イベントや「ジオパークの日」のイベント等をはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値を達成できた。 	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、今後も入込客数を増やしていく必要がある。	10,713千円	8月から本格的にイベント等を開催する計画であり、入込客数を増加するため着実に業務をすすめていきたい。	10,935千円	
516	鹿島文化ホール・ミュージックフェスタ事業	鹿島文化ホールにおいて実施される音楽イベントへの補助事業。 ・ピアノフェスティバルinかしま ・鹿島ジュニア音楽会	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノフェスティバル 令和5年8月26日(土)開催 ・ジュニア音楽会 令和5年12月3日(日)開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の確保方法 ・経費の観点から実施方法見直し 	494千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノフェスティバル 令和6年8月24日開催予定 ・ジュニア音楽会 令和6年12月開催予定 	494千円	
517	鹿島文化活動推進事業	鹿島地区における文化活動の推進や地域内交流の推進を図るための文化祭を開催する実行委員会への補助事業。 ・鹿島町民文化祭	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年10月28日(土)・10月29日(日)の2日間開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の業務負担軽減 ・参加者減少によるコンパクト化 	250千円	令和6年10月26日(土)開催予定	250千円	
518	島根町地域コミュニティ支援事業	伝統行事、文化講演会の開催など自治会独自の活動に対して補助を行うことで、地域の連帯感の醸成や地域活動の活性化を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会連合会と10自治会から補助金の申請があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し地域のイベントが復活してきたが、地域活動の担い手が不足している。 	1,146千円	自治会連合会と12自治会から補助金の申請があった。	1,559千円	
519	文化鑑賞事業	観光や文化交流の拠点として整備されたメテオプラザの利用促進や交流人口の増加を目的に実施する文化鑑賞事業を支援する。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・9月16日、9月17日、10月15日にミュージカル「あいと地球と競売人2023」の公演を行い、2,398名の来場があった。 ・10月21日、22日にしまね映画祭2023を行い、326名の来場があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数は増加となったものの、まだマスメディア等を利用したPRが必要である。 	2,328千円	海の学苑ふるさと創生館が令和6年7月1日から急遽利用休止となり、再度利用可能となる目途がたつておらず、事業方針等について地元と協議中。	2,328千円	
520	八雲ふれあい文化祭事業	八雲町内各種文化サークル、小中学校、幼稚園、保育園等の活動や作品の展示をはじめ、発表の場をつくることにより、町民の文化意識の向上と交流を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> ・10月21日22日に展示、発表、模擬店の文化祭実施した。 	特になし	169千円	<ul style="list-style-type: none"> ・10月19日20日に展示、発表、模擬店の文化祭実施予定。 	169千円	
521	玉湯文化活動推進事業	住民の柔軟な発想による企画、運営の文化祭及び文化・芸術講演会等を支援することにより、住民の主体的なまちづくりの促進を図る。	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 【たまゆ文化祭】 ・10月28日(土)・29日(日)の2日間開催 ・会場内では、4年ぶりに「飲食ブース」を設け、玉湯学園生徒による「模擬店」を行った。 ・ステージでは地元のサークル団体をはじめ、玉湯学園校吹奏楽部の演奏などで2日間延べ3,300名の来場で賑わった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を担う「こどもたち」の発表参加が少なかったため、こどもたちの参加につながる内容を検討していく。 	100千円	<ul style="list-style-type: none"> 【たまゆ文化祭】 ・開催日:10月26日(土)、10月27日(日) ・内容:各種団体の発表、展示イベント、模擬店など ・その他:8月23日(金)実行委員会を開催し、内容等を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度より玉湯地域振興特定事業補助金へ統合し、事業費を交付予定。玉湯文化活動推進事業は廃止した。 	100千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える					
522	宍道地域文化活動推進事業	文化活動や生涯学習の推進を図るため、宍道公民館運営協議会が行う宍道町民文化祭、さまちの里活性化協議会が行うさまち川まつり(来楽館)に対して補助を行う。	市民部			●	●	●	●	●	●	●	●	○		・宍道町民文化祭の50周年記念事業として、10月28日(土)～12月3日(日)に宍道鼓動芸術祭を開催。 ・さまち川まつりは、宍道鼓動芸術祭のオープニングイベントとして10月28日(土)に開催。 【さまち川まつり】 ・高齢化や人口減少による担い手の世代交代。	297千円	宍道町民文化祭は11月2日(土)～11月4日(月)開催予定。	198千円
523	八束文化祭開催事業	八束地域の文化活動の発表の場である文化祭の開催を支援する。	市民部				●	●	●	●	●	●	●	○		・10月28日(土)、29日(日)に補助金交付申請なしで文化祭開催(作品展示は24日(火)～29日(日))。 特になし	0千円	開催の方向で実行委員会の開催を予定されている。	186千円
524	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・各校の計画に沿って、順調に実施されている。 学校規模によって校外学習への取り組みやすさに違いがあり、配分する金額の調整が難しい。物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。	1,765千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円
525	音楽教育振興事業助成	交通費等の経費を補助することで、遠距離校を含めた市内の小中学生が一同に会する機会を安定して創出し、児童生徒の音楽教育振興を図る。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・連合音楽祭、吹奏楽コンクールについては予定通り実施済み	4,733千円	・吹奏楽コンクールについては実施済み。 ・連合音楽会については、10月開催に向けて順調に進んでいる。	4,236千円
526	プラバホール音楽振興事業	プラバホール休館期間中に各種音楽振興事業を行う。(コンクール・コンサートの開催、音楽に関する情報の発信、演奏動画配信、講座の開催など)	教育委員会			●	●	●	●	●	●	●	●	○		・NPO法人音楽協会へ業務委託【主な事業の来場者数】 0歳からは入れるコンサート285人 まちなかコンサート250人 オーバホール見学会172人 滞りなく実施できた	40,218千円	—	—
527	鹿島文化ホール管理運営	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・NPO法人かしまによる指定管理利用者数 13,017人 ・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある。 ・地域の芸術・文化振興に繋がる取り組みを実施し、利用率の向上を図る。	12,043千円	・NPO法人かしまによる指定管理利用者数 2,882人(前年同時期比71.5%)	15,292千円
528	総合文化センター運営	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・10月より図書館とホールを除く一部貸館施設を再開 プラバホール利用者数 6,700人 ・より多くの市民に来場してもらえるよう、魅力ある事業や、その周知方法を検討する必要がある。 ・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある。	79,874千円	・令和6年4月全館再開。 プラバホール利用者数 27,411人	145,352千円
529	八雲アルバホール管理運営	八雲アルバホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		・市による直営管理利用者数 6,906人 ・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある。	7,052千円	・市による直営管理利用者数 1,280人(前年同時期比 130%)	6,763千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
【柱6】伝統文化芸術活動の拠点となる施設																				
事業数49事業(うち、新規事業7事業)																				
601	中海振興多目的施設管理運営	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部		●	●	●	●	●						○	・令和6年度の施設利用者数計4,078名。	・当該施設を利用した実証実験を行い施設の活用策を検討していくことが必要。	2,025千円	・令和6年度7月時点の施設利用者数は、計1,330名。 ・クーリングシエルトに指定。	2,206千円
602	京店広場・旧日銀松江匠工房管理	松江市京店広場と旧日銀松江匠工房の管理運営を指定管理者に委託するもの。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●				○	・カラココ工房リニューアルに向けた対応。 ・フードホールの新テナント募集(令和5年10月～)。 ・カラココ広場の管理、運営	これまで以上に新たな仕組みと仕掛けを施すことにより、より多くの市民や観光客が日常的に訪れるきっかけを作り出していく必要がある。	17,895千円	・カラココ工房リニューアルに向けた準備。 ・フードホールテナントの確定 ・カラココ広場の管理、運営	30,817千円
603	京店広場・旧日銀松江匠工房整備事業(継続)	カラココ工房本館棟は築80年以上経過し老朽化が進んでいる。耐震診断の結果や建築基準法第12条定期点検の結果から、早急な老朽改修工事の必要性を指摘されている。一方でオープンしてから20年以上が経過し、拠点施設として一層の魅力化を図るため、施設のあり方を検討する。具体的には施設の利活用の案を民間事業者から公募し、提案内容を題材にしながら検討委員会で議論・検討を重ね、令和3年度末に基本構想を策定する。最終的には令和6年度中のリニューアルオープンを目指し事業を進めていく。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●				○	・工事施工業者の入札。 ・リニューアル後のパース作成。 ・工事着手(令和5年10月～)	—	237,686千円	・本館1階、3階事務所、別棟、工房棟、地下展示室(1)の部分引き渡し(令和6年6月末) ・地下展示室(1)において行うPCB除去工事の施工業者決定(竣工予定日:令和6年10月31日)	582,541千円
604	来待ストーン管理運営	来待ストーンの管理運営を指定管理者に委託するもの。	観光部		●	●	●	●	●	●	●				○	来待ストーンの管理運営を行った。	特になし	19,106千円	管理運営を実施している。	19,073千円
605	海の学苑ふるさと創生館管理運営【再掲】	美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ)の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部		●	●	●	●	●	●	●				○	海の学苑ふるさと創生館の管理運営を行った。	雨漏りや一部天井落下が発生しており、施設改善の検討が必要。	80,193千円	管理運営を実施している。施設の不具合箇所は現状調査を行う。	103,225千円
606	小泉八雲旧居保存活用事業【再掲】	旧居公開に向けた検討及び、保存活用計画策定準備を行う。	文化スポーツ部				●	●	●						○	・施設の非公開部分の活用に向けた整理を含め、保存活用計画の策定を必要とする。 ・保存活用計画策定に向けて、関係各所(文化庁、県等)協議を進めた。 ・令和6年度文化庁補助事業として予算化した。	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲記念館と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・施設の非公開部分の活用に向けた整理を必要とする。	217千円	・令和6年6月3日交付決定により文化庁補助事業として保存活用計画策定事業を実施中。 ・令和6年6月「史跡小泉八雲旧居保存活用計画策定委員会」を設置。委員5名に同年8月1日付け委嘱状交付予定。	8,514千円
607	美保関観光ビューフェ保存活用事業【再掲】	重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。	文化スポーツ部				●								○	・美保関灯台とあわせて施設の一部が重要文化財指定された(令和4年2月)ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理を進めている。 ・令和5年度保存活用計画案を作成中。国や県のスケジュールに合わせて案を提出する。	R6年2月に文化庁へ提出し3月策定を目指すも、国の審査が間に合わず、R6年度中の策定予定となった。今後も国や県のスケジュールに合わせて案を完成させる。	484千円	・美保関灯台とあわせて施設の一部が重要文化財指定された(令和4年2月)ことに伴い、灯台の一般公開に向けた、課題の洗い出しや整理を進めている。 ・令和5年度保存活用計画案を作成中。国や県のスケジュールに合わせて案を提出する。	—
608	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部				●	●		●					○	・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭暨行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国権サミット松江大会	令和5年度は12本の動画を作成したが、1本あたりのYouTube再生回数が約185回であり、多くの方に見ていただけないことができなかった。	1,452千円	今年度、最初の動画の公開を8月末としているため、現時点では再生回数の実績はない。今年度は、中海圏域の若者をターゲットにしたSNS広告を実施することとしている。	2,452千円
609	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●					○	■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定	・「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知度が低く、認知向上を図る必要がある。	210千円	■審議会 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月下旬開催予定 ■7月29日～8月31日まで「松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート」を実施中 ■「松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画」を策定予定	1,261千円
610	明々庵及び赤山茶道会館管理運営【再掲】	松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				○	・適正な管理運営を行っている。 ・利用者数:15,736人	・海外や県外客の入込みが増えているものの、市民からの知名度は低い事が課題となっている。周辺施設や地域との連携を図り、施設の新たな活用を検討する必要がある。	12,046千円	・適正な管理運営を行っていただいている。 ・利用者数:4,295人(7月末時点)	17,880千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
611	八雲林間劇場施設改修事業	八雲林間劇場(しいの実シアター)について、老朽化、故障した施設設備を、計画的に修繕する。	文化スポーツ部		●	●	●								○	・空調機更新工事を実施	・予定どおり修繕を実施した。引き続き指定管理者からの要望を受けた修繕箇所について協議をしつつ修繕計画を立てる。	770千円	・移動型調光器交換設置工事を実施した。 (7,583,400円)	—
612	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部			●	●	●	●	●	●	●	●		○	【松江の文化力体験推進事業】 ・12の教室を開催し、計390人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	【松江の文化力体験推進事業】 ・受託事業者と実施依頼先との調整において、依頼先から委託者への問い合わせが多く、受託者は依頼先への十分な説明を行う必要があるとともに、委託者へ必要な情報提供を行う必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・ホームページに掲載するだけでは活用団体が増えないことから、自治会等への声掛けを継続する必要がある。	4,489千円	【松江の文化力体験推進事業】 ・プロポーザル実施により、日本旅行Tis松江支店を受託事業者として選定した。提案内容について改めて打合せの場を設け、8月上旬の契約に向けて準備している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・1つの団体から補助金申請を受けた。	4,763千円
613	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・適正な管理運営を行っている。 ・企画展「アイルランド・日本交流美術展『KWAIDAN—ラフカディオ・ハーンとの邂逅』(令和5年6月27日～9月24日)、小泉清—その生涯とコレクション展(10月6日～)開催 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:64,952人	・小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 ・2016年のリニューアルオープン以降7年が経過し、展示映像音響設備のオーバーホール等実施する必要がある。	21,043千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・入館者数:27,034人(7月末時点)	35,318千円
614	かやぶき交流館施設改修事業	八雲かやぶき交流館について、計画的に修繕を行うもの。	文化スポーツ部		●	●	●								○	・茅葺屋根の改修方法の検討等について、施設のあり方を含め検討している。 ・ガルバリウムで葺き替えた場合のパーズ図を発注した。	・茅葺屋根の修繕や施設の在り方について引き続き検討する。	220千円	・茅葺屋根の修繕や施設の在り方について引き続き検討している。	—
615	かやぶき交流館管理運営	八雲かやぶき交流館の管理運営を指定管理者に委託するもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・貸館案内チラシのリニューアル及び広報努力により、利用者数が伸びている。予約についての問い合わせ、施設見学の件数も伸びている。今後に期待する。	・利用者数が伸びている事に伴い、駐車場の不足が発生している。	3,202千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。	3,883千円
616	八雲林間劇場管理運営【再掲】	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・指定管理事業として公演事業の実施。 ・市内小中学生を対象とした育成事業の実施。 ・海外劇団招聘による観劇の実施。 ・令和6年度からの指定管理事業の見直しを行った。	・貸館利用が少ない。かやぶき交流館同様に、気軽に利用できる施設になるよう、広報活動に努める必要がある。	16,561千円	・適正な管理運営を行っている。 ・指定管理者から市への迅速な報告により、施設修繕等適正に行われている。 ・指定管理事業として公演事業の実施。 ・市内小中学生を対象とした育成事業の実施。	33,020千円
617	中村元記念館活用事業【再掲】	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・文書検索管理システム入力業務委託登録件数:4,073冊	引続き、文書検索管理システム入力業務にご尽力いただく	15,355千円	・業務委託先のNPO法人の高齢化、財政赤字などの課題があり、今後の施設のあり方を見直す必要が生じている。	15,724千円
618	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	子ども向けカヤック体験イベントや「ジオパークの日」のイベント等をはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値を達成できた。	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、今後も入込客数を増やしていく必要がある。	10,713千円	8月から本格的にイベント等を開催する計画であり、入込客数を増加するため着実に業務をすすめていきたい。	10,935千円
619	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田沙と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・企画展「海上の覇者 奥才古墳群」を開催。 ・特別展「茶色い戦争ありました—軍事郵便と鹿島の戦争」を開催。	特になし	12,952千円	・特別展『海と湖に生きた人々—登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念—』(10/5～)を開催に向け準備中。	11,627千円
620	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・春季企画展「福島窯と本船木窯—江戸期から続いた民窯—」を開催 ・夏季企画展「没後10年 松木倭帆のガラス展—玉湯町布志名が生んだ工芸作家—」を開催 ・秋季企画展「手仕事の美—暮らしのなかの布志名焼と生活道具—」を開催。	特になし	10,878千円	秋季企画展「松江藩の藩窯—雲善・永原窯を中心に—(10/23～)の開催に向け準備中。	11,910千円
621	松江城・城山公園管理運営【再掲】	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●		○	・城山公園の管理・運営 ・大手前広場転落防止柵修繕 ・天守閣スポットライト取替 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・城山公園松くい虫防除樹幹注入	・来場者の安全確保が必要な修繕などは迅速に取り組むことが求められる。 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除を計画的に実施し、必要があれば伐採などの対応を行う必要がある。	3,596千円	・城山公園の管理・運営 ・城山公園道路支障木剪定・伐採 ・ナラタケモドキ病対策薬剤防除 ・二之丸上ノ段公衆トイレセンサー修繕 ・城山公園案内看板修繕	5,825千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える					
622	興雲閣管理運営【再掲】	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による興雲閣の管理、施設の修繕。 多目的便所便座修繕。 カーテンクリーニング実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の安全確保が必要なものは迅速に取り組むことが求められる。 壁の塗装の剥がれが酷く、平成27年度の改修工事から9年が経過しているため、塗替などを検討する必要がある。 	704千円	指定管理者による興雲閣の管理、施設の修繕	660千円
623	松江市文書館(仮称)機能整備事業	歴史的に重要な公文書と、地域に所在する歴史史料(古文書等)を等しく収集・整理・保存し、市民の利用に供することを目的とし、「松江市文書館(仮称)整備構想」に基づき、文書館の機能を整備する。	文化スポーツ部 総務部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 松江市文書館(仮称)基本計画検討委員会を1回開催。 東出雲支所公文書の移転 旧永年保存文書の第一次選別を実施。 アーキビスト育成(研修受講ほか) 	<ul style="list-style-type: none"> 松江市文書館開館に向けて、現在も進めている。公文書作成から保存・評価・選別・移管(廃棄)の一連の公文書管理の流れを構築し実施することが重要。そのためにも、職員一人ひとりの意識改革が必要である。 	4,240千円	松江市文書館(仮称)基本計画検討委員会の第2回を開催。令和6年度にあと2回開催し、今年度中の策定を目指す。 歴史公文書の移管作業に着手。 アーキビスト育成(研修受講ほか)	5,152千円
624	松江歴史館管理運営【再掲】	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 松江歴史館の入館者数は104,049人、観覧者数は48,647人だった。 学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を12回行った。 松江歴史館ニュースレター「MATSUR EKI」を2回刊行した。 市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を34校行った。 松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を4回行った。 名譽館長講座を11回行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 入館者に比べて、観覧者は半数以下にとどまっている。観覧につなげるイベントなどを検討する必要がある。 初めての来館者が多い。何度も利用してもらえよう取組みが必要である。 松江おもしろ談義などの講座について、参加者は比較的年齢層が高い。幅広い世代の方に参加してもらえるような広報等が必要である。 松江城授業プロジェクトなど、小学生の学習機会の提供には寄与できているが、中学生以上の学生に対しての取組みができていない。 	98,641千円	7月末時点での松江歴史館の入館者数は43,377人、観覧者数は14,030人だった。 学芸員による松江の歴史や美術に関する講座「松江おもしろ談義」を4回行った。 市立小学6年生等に対して松江城と松江歴史館等を案内する「松江城授業プロジェクト」を5校行った。 松江市内の歴史に興味がある小学5・6年生を対象に、松江城や歴史館の裏側を見学する「めざせ！お城マスター！」を2回行った。 名譽館長講座を4回行った。	92,493千円
625	松江歴史館資料取得事業【再掲】	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 資料の寄贈・寄託・資料の購入を行った。(寄贈資料28件、寄託資料11件、購入資料3件) 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な資料でも予算に限りがあり購入できないケースもある。 購入のための基金は減っていく一方で、財源を確保していく必要がある。 	947千円	資料の寄贈・寄託を行った。(寄贈資料2件、寄託資料2件)	2,610千円
626	松江歴史館調査・研究事業【再掲】	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 『松江歴史館研究紀要 第12号』の制作を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 展示開催までに、十分な調査・研究の期間や費用の確保が必要である。 	721千円	『松江歴史館研究紀要 第13号』の制作を行っている。	903千円
627	松江歴史館展示企画事業【再掲】	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 4回の企画展を行った。 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外一往來する神と書画」 ②企画展「松江市小学校開校150年 みんなの小学校150年のあゆみ」 ③特別展「漆壺齋と勝軍木庵 - 花開く松江の漆文化 -」 ④館蔵品展「明治時代のサムライたち - 松江藩士の行く末 -」 	<ul style="list-style-type: none"> 県外からの観覧者が増えてきたこともあり、江戸時代を中心とした松江の歴史について展示している基本展示のみの観覧者の割合が高い。県外の人にも企画展を観覧してもらえるような広報・周知等が必要である。 	15,389千円	7月末時点で2つの展覧会を実施している。 ①企画展「神々の美術 - 出雲の神像と神宝」 ②企画展「松江体育協会創立100周年記念 松江のスポーツ今昔」	18,386千円
628	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は6,155人だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回のホーランエンヤ開催に向けて、機運を高める取組みも必要である。市内の学校へ伝承館の観覧を促すなど、長期的に計画を立て取組む。 	4,934千円	7月末時点での松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は2,133人だった。	5,932千円
629	総合文化センターリニューアルオープン事業	大規模改修工事を経て、令和6年度にリニューアルオープンする総合文化センターが、文化芸術活動や学びの拠点として、より多くの市民に親しまれ、利用されるよう、1年を通して様々な記念行事を開催し、リニューアルした施設の周知及び来館促進を図る。	教育委員会				●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 6月8日に第1回松江市プラパホールリニューアルオープン事業実行委員会が開催され、委員会の設置及び今年度の事業計画等を確認した。2月9日に2回目の同実行委員会を開催した。 今年度は、令和6年度に通年で実施するリニューアルオープン事業の事前準備、事業実施にあたっての広報活動等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> より多くの市民に来場してもらえるよう、魅力ある事業や、その周知方法を検討する必要がある。 	2,915千円	5月22日に第3回松江市プラパホールリニューアルオープン事業実行委員会が開催され、今年度の事業計画等を確認した。 1年を通して様々な記念行事を開催し、リニューアルする施設の周知及び来館促進を図っている。	22,750千円
630	鹿島文化ホール整備事業	松江市鹿島文化ホールの施設修繕を行う	教育委員会				●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 建設より30年以上が経過し、施設の老朽化が激しいため整備を行うもの。以下2件の工事を実施した。 研修ホール空調機更新工事 屋上防水改修工事 	滞りなく実施した。	34,070千円	-	-
631	総合文化センター整備	施設建設後35年以上が経過する中、文化振興の拠点としての役割をこれからも担うことができるよう、遵法・耐震・保全・改善に係る総合的な改修を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	<ul style="list-style-type: none"> 10月より図書館とホールを除く一部貸館施設を再開。 大規模改修工事。 パイプオルガンOH 	滞りなく実施した。	1,507,437千円	令和6年4月全館再開。 会議室等備品更新契約完了 南駐車場機器更新施工予定	15,347千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
632	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている 利用件数 10件 利用者数 292人	・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある ・運営ボランティアの高齢化による人手不足	2,082千円	・運営業務委託先:松江市美保関歴史・生活体験活動推進協議会 ・市内の小学生等の体験学習の受け入れを行っている 学習活動としての予約が数件	2,385千円
633	公民館管理	公民館の維持管理を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・市内29公民館を指定管理者制度により運営している。	・建築後35年以上経過する公民館が7館あり、全体的に施設の老朽化が進行している。	614,801千円	・市内29公民館を指定管理者制度により運営している。	678,993千円
634	公民館施設改修事業	公民館施設・設備の耐用年数等を踏まえ、優先度の高いものから改修等を実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・屋根改修(古志原)工事実施予定	当初は城西公民館及び秋鹿公民館の空調改修を行う計画であったが、設計業務完了後、機器調達に想定以上の日数を要し、年度内に工事を完了することが困難と判明し、改修工事はR6年度に実施することとなった。	14,427千円	・秋鹿公民館空調改修は、予定どおり施工予定 ・城西公民館空調改修は、物価高騰の影響で工事費が不足することから、改めて令和7年度実施に計画変更 ・津田公民館の屋根改修は、工事までは必要なく、修繕で対応済	1,353千円
635	公民館振興事業	市民学習発表会を松江市公民館運営協議会連合会へ事業実施を委託し実施する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・ブロック事業や市民学習発表会へ向けて各地区で活動を行っている。 ・今年度は全ブロックで市民学習発表会を開催することができた。	ブロック内外での交流の機会を十分に確保し、引き続き全ブロックで市民学習発表会を開催できるよう支援をしていく必要がある。	1,880千円	ブロック事業や市民学習発表会へ向けて各地区で活動を行っている。 今年度も全ブロックで市民学習発表会を開催する予定である。 今後の市民学習発表会のあり方について協議も行った。	1,880千円
636	鹿島文化ホール管理運営【再掲】	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・NPO法人かしまによる指定管理 利用者数 13,017人	・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある。 ・地域の芸術・文化振興に繋がる取り組みを実施し、利用率の向上を図る。	12,043千円	・NPO法人かしまによる指定管理利用者数 2,882人(前年同時期比71.5%)	15,292千円
637	出雲かんべの里運営事業【再掲】	出雲かんべの里の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 利用者数61,832人(民話館7,875人、工芸館47,154人、かんべ茶屋6,803人)	民話館は、パネル展示をはじめ、映像機器の故障等の課題があるため機器の修繕等を検討する必要がある。	41,880千円	・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 利用者数43,027人(民話館4,218人、工芸館36,329人、かんべ茶屋2,480人)	42,600千円
638	人と情報・文化の交流館運営	人と情報・文化の交流館の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・一般社団法人加賀瀬戸遊覧船指定管理 利用者数4,124人(ギャラリー晃光13人、遊覧船乗船者4,111人)	来館者の大半は、遊覧船及びビジターセンターを目的として来館していることから、そういった方に対し、ギャラリー晃光を積極的にPRする必要がある。	10,117千円	・一般社団法人加賀瀬戸遊覧船指定管理 利用者数2,060人(ギャラリー晃光1人、遊覧船乗船者2,059人)	13,746千円
639	総合文化センター運営【再掲】	松江市総合文化センター(プラパホール)の管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・10月より図書館とホールを除く一部貸館施設を再開 プラパホール利用者数 6,700人	・令和6年4月全館再開。 より多くの市民に会場してもらえるよう、魅力ある事業や、その周知方法を検討する必要がある。 ・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある。	79,874千円	・令和6年4月全館再開。 プラパホール利用者数 27,411人	145,352千円
640	八雲アルパホール管理運営【再掲】	八雲アルパホールの管理運営を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	・市による直営管理 利用者数 6,906人	・施設の修繕等、適切に維持管理していく必要がある。	7,052千円	・市による直営管理 利用者数 1,280人 (前年同時期比 130%)	6,763千円
641	中央図書館再開準備事業	リニューアル後の中央図書館をより利用しやすく居心地のよいものとする。中央図書館の再開に際し、備品等を整備し、読書環境の向上を図る。	教育委員会				●	●	●	●					○	・中央図書館リニューアル業務委託費、消耗品、備品購入 ほか 合計:2,862千円	なし。(順調に事業実施できた)	2,862千円	-	-
642	東出雲図書館移転事業	東出雲複合施設に移転後の東出雲図書館をより利用しやすく居心地のよいものとするため、東出雲図書館の移転に際し、備品等を整備し、読書環境の向上を図る。	教育委員会				●	●	●	●					○	・東出雲図書館閲覧台の購入、物品運搬 移設業務委託 ほか 合計:7,218千円	なし。(順調に事業実施できた)	7,218千円	-	-
643	中央図書館運営	市民の意見を取り入れながら、ニーズに応じた資料の収集やレファレンス、情報の発信を行う。中央図書館を中心に、2つの地域館、移動図書館車、配本事業の連携、また、地域、学校図書館、大学等とのネットワークにより全地域に良質な図書館サービスを提供する。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	<R5年度実績> 【利用者数】 55,244人 【貸出冊数】269,612冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。 ・上記数値は、4月～7月までの代替サービスと10月のリニューアルオープン以降の集計を合算したものの。	SNS等を用いた情報発信 中高生世代に向けた図書館利用の啓発	33,525千円	<R6.4月～7月実績> 【利用者数】 30,307人 【貸出冊数】142,131冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	31,920千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
644	移動図書館運営	図書館から離れた地域へ移動図書館車(ブックモバイル)で巡回して図書の貸出等を行い、全市域への図書館サービス充実を図る。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	<R5年度実績> 【利用者数】2,399人 【貸出冊数】43,028冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	SNS等を用いた情報発信 車両の老朽化に伴う維持管理及び更新	2,396千円	<R6.4月～7月実績> 【利用者数】1,057人 【貸出冊数】16,543冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	1,663千円
645	島根図書館運営	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	<R5年度実績> 【利用者数】3,486人 【貸出冊数】20,630冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	SNS等を用いた情報発信	3,454千円	<R6.4月～7月実績> 【利用者数】1,186人 【貸出冊数】6,179冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	3,487千円
646	東出雲図書館運営	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。	教育委員会		●	●	●	●	●	●					○	<R5年度実績> 【利用者数】13,666人 【貸出冊数】71,132冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	SNS等を用いた情報発信	3,215千円	<R6.4月～7月実績> 【利用者数】4,644人 【貸出冊数】21,507冊 ※雑誌・視聴覚資料を含む。	5,345千円
647	まちのRe-project事業	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実事業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部		●	●	●			●					○	・中心市街地において、松江市の「まちづくりのパートナー」となる都市再生推進法人の募集開始(R5.4～)し、1団体を指定(R5.11)。 ・中心市街地エリアビジョンに掲げる6つのゾーン内で行政が推進する主要事業についてまとめた。 ・過去5年以内に新しくできた遊休不動産を活用しているお店などを歩いて調査し、マップを作成。 ・白湯地区において、遊休不動産となっている物件を調査。 ・ガイドラインや動画を活用したリノベーションまちづくりの啓発 ・SNSでの情報発信(R4～)。	特になし	0千円	・中心市街地において、松江市の「まちづくりのパートナー」となる都市再生推進法人の随時募集(R5.4～) ・ガイドラインや動画を活用したリノベーションまちづくりの啓発 ・継続してSNSでの情報発信(R4～)。	80千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
【柱7】宍道湖、堀川、中海等の松江的景観																				
事業数41事業(うち、新規事業5事業)																				
701	中海振興多目的施設管理運営【再掲】	松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部		●	●	●	●	●						○	・令和6年度の施設利用者数計4,078名。	・当該施設を利用した実証実験を行い施設の活用策を検討していくことが必要。	2,025千円	・令和6年度7月時点の施設利用者数は、計1,330名。 ・クーリングシエルトに指定。	2,206千円
702	雲州人参振興対策事業	雲州人参産地の再興を図るため、生産にかかる農家負担を軽減できるよう新たな栽培体系の実証、普及などに向けた取り組みに対して支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●				○	(雲州人参栽培体系近代化実証試験) ・6/12に生産者の方々に、花卉センターで実施している実証試験の経過や結果を報告。 ・6/12に生産者の方々と意見交換会を開催。	・昔ながらの稲わら方式による栽培は資材の入手が難しく労力がかかる。 ・新しい栽培方法であるパイプハウス方式は、資材費が高く、栽培体系が確立されていないので、生育にばらつきが出る。 ・防除や施肥など記載された栽培暦がないので、新規就農者が参入しにくい。	896千円	(雲州人参栽培体系近代化実証試験) ・鳥根大学と共同して新規就農者2名を含めた新規作付け圃場を5名×1a栽培実証および試験(4月)	936千円
703	松江大根島牡丹振興対策事業	本市特産である、松江大根島牡丹の生産振興を図るため、国内外の販路拡大に向けた取組、土壌病害虫対策として、消毒剤の購入、新規就農者への苗の供給に対する支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●	●	●					○	■担い手確保及び消費拡大に向けた牡丹認知度向上を目的とした事業を実施 ・大根島牡丹祭、切花品評会実施(4月) ・中国牡丹園無料解放(4月) ・大根島牡丹パネル作成(4月) ・とっとり花回廊牡丹展(4月-5月) ・新庁舎オープンイベント牡丹展示(5月) ・新旧庁舎イベント牡丹展示(5月) ・松江駅で牡丹展示を実施(4-5月、1月) ・菊花展において牡丹展示(10-11月) ・SNSによる情報発信 ■国内外販路拡大 ・京都府立植物園100周年記念式典参加支援(7月) ・台湾との建国花市への出展に関するオンライン会議を開催(8月) ・台湾での建国花市へ出展支援(2月)	・高齢化、後継者不足により生産戸数、出荷量とも減少傾向。 ・収益向上、所得の安定、新規就農者の掘り起こしに向けた取組が必要。	4,004千円	■担い手確保及び消費拡大に向けた牡丹認知度向上を目的とした事業を実施 ・大根島牡丹祭、切花品評会実施(4月) ・中国牡丹園無料解放(4月) ・花卉国際シンポジウムでの市長公演・牡丹展示実施(4月) ・松江駅で牡丹展示を実施(4-5月、12-1月予定) ・菊花展において牡丹展示(11月予定) ・とっとり花回廊牡丹展(11-12月予定) ・SNSによる情報発信 ■国内外販路拡大 ・京都府立植物園100周年記念式典参加支援(4月) ・台湾との建国花市への出展に関するオンライン会議を開催(10月予定) ・台湾での建国花市へ出展支援(1月予定)	4,553千円
704	八束花卉生産振興センター管理運営	農家の栽培・経営技術の向上、牡丹の品種の保存活動を行い、特産品の認知度向上を図る。特産品を基幹とした補完作物や新規作物の研究を行う。	産業経済部		●	●	●	●	●	●					○	①(雲州人参栽培体系近代化実証試験)生産者へ実施状況を報告し、意見交換を行った。 ②(牡丹品種保存の取組)今年度の改植品種を選定し改植を実施した。 ③(鞆組そば栽培実証)令和4年度で終了	①従来の稲わら等を使用する栽培方法は、資材の確保が困難となっているため、資材を確保しやすいパイプハウス方式を検証中だが、資材費の高騰によりコストが課題となっている。また、パイプハウス方式の栽培体系の確立をめざす。 ②入手困難な品種もあり、整備が急がれる。 ③令和4年度で終了	16,258千円	①(雲州人参栽培体系近代化実証試験)・鳥根大学と共同して新規就農者2名を含めた新規作付け圃場を5名×1a栽培実証および試験(4月) ②(牡丹品種保存の取組)今年度の改植品種を選定中	17,209千円
705	城下町・水の都魅力発信事業【再掲】	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部			●	●	●	●	●	●				○	・令和5年「観光戦略プラン」実行の初年度にあたることから、そのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」の発信のため、下記の事業を行った。 ○城下町の魅力活用事業 ・国宝松江城・お城まつり →松江らしい演出で桜咲く松江城へ誘客を行った。 ・国宝松江城ライブ →国宝松江城(雨天のため、会場をくまびきメッセに変更)を舞台に人気アーティストによるライブを3/20(水祝)に行った。 ・武者のまち発信事業 →松江城やJR松江駅などで武者によるおもてなしを実施した。 ○水の都の魅力活用事業 ・ヘルスツーリズム →心身のリフレッシュや健康増進につながるコンテンツづくりおよびモニターツアーを3/7～9で実施した。 ○情報発信事業 ・夕日のブランディング事業として、ブランドサイト、ブランドキービジュアルを作成した。 ・閑散期(12月～2月)の観光誘客および魅力発信のため、冬季専用のHPを作成した。	・「城下町」、「水の都」の魅力発信で更なる観光誘客と湖畔の賑わい創出により中心市街地の経済の活性化を図る必要がある。	44,365千円	令和5年に策定した観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」の発信のため、下記の事業を行う。 ○松江城お城まつりの開催 →桜木のライトアップやステージ企画で桜咲く松江城を演出 ○松江城ステージイベント開催 →人気役者の公演を実施予定 ○武者のまち発信事業 →松江城やJR松江駅で武者のおもてなし ○湖畔の賑わい創出事業 →嫁ヶ島のライトアップを行う。 ○情報発信事業 →人気タレントを活用したプロモーション 松江城の国宝100周年の機運醸成・夕日のブランディングなど ○AIを活用した周遊促進事業 →JR西日本が提供する観光アプリの活用し、観光客の周遊促進を図る	60,000千円
706	地域花火実証事業【再掲】	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部			●	●	●	●	●					○	・松江市内で開催する地域の花火大会を支援し、地域の賑わい創出や地域コミュニティの維持に対してもたらす効果等を検証する。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未滿切捨て)とし、200。 ・13件申請。13件交付決定。	・周知が行き渡らず、目標申請数に達しない。	2,580千円	・現在14件申請。14件交付決定。 ・補助対象経費の10分の10以内の額(未滿切捨て)とし、1団体あたり200千円を上限とした。	4,000千円
707	嫁ヶ島環境整備事業	平成11年に設置(平成17年災害による復旧施工あり)した現在の桟橋は、腐食などの老朽化が進んできたことから、宍道湖の修景に配慮した素材や防舷材を使った桟橋に付け替え、安全性を確保するとともに観光誘客につなげる。	観光部			●									○	・令和5年8月18日完成(令和5年8月25日竣工)	特になし	14,112千円	—	—

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
708	嫁ヶ島活用事業【再掲】	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から11月まで、土・日・祝(荒天時を除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した(棧橋工事により、6～8月末まで一時休止)。 ・8月6日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。9月23日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中旬に「湖上茶会」を実施した。 	・イベント認知度の向上	2,209千円	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から7月まで、土・日・祝(荒天時を除く)に嫁ヶ島のライトアップを実施した。 ・8月4日(日)に「歩いて渡る嫁ヶ島」を実施。 ・9月21日(土)に「嫁ヶ島万灯会」、10月中旬に「湖上茶会」を実施する予定。 	3,000千円
709	松江水郷祭補助金	松江市の最大の夏祭りである水郷祭の運営のため、補助金を交付する。	観光部		●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって持続可能な開催方法を検討するため、花火の発数と有料観覧席の発数を大幅に拡大した社会実験として、8月5日、6日に開催した。また、4年ぶりに飲食ブース、ステージイベントを再開した。 ・開催後、アンケート調査と市民ワークショップを開催し、来年度の開催方針決定に向けて意見を聴取した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる観光誘客と賑わい創出により地域経済の活性化を図る必要がある。 ・持続可能な開催のため、安定的な財源の確保が必要。 	17,000千円	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、8月3日、4日に花火の発数と有料観覧席を大幅に拡大した社会実験として開催する。 ・過去最大となる2日間21,000発の花火の打ち上げとドローンショーを実施予定。 ・持続可能な開催モデルを検討するため、有料観覧席を大幅に拡大(2日間合計25,000席程度) ・開催後にアンケートを行い、今後の開催について検討する。 	17,000千円
710	潜戸観光遊覧船更新事業【再掲】	(一社)加賀潜戸遊覧船が所有する船2艘の老朽化が進行し、新しいものでも30年が経過している状況にある。遊覧船更新により観覧受入環境を整え、ジオパークの推進に繋げる。	観光部				●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の安全対策を踏まえた仕様により、遊覧船を1隻更新した。 	特になし	36,630千円	令和6年4月より発効した国土交通省の安全基準を踏まえた仕様により、遊覧船を入札し、造船業者を決定した。	38,600千円
711	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●						○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月計画通り補助金の支払を行った。 	特になし	7,500千円	・毎月計画通り補助金の支払を行っている。	7,500千円
712	チェリーロード管理運営	市道チェリーロード線沿いの桜並木の維持管理を行う。桜並木の施肥、消毒、下草刈を行う。桜開花時期に交通誘導、ライトアップ、看板の設置及び撤去を行う。	観光部		●	●	●	●							○	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理のための草刈等の業務を実施した。 	特になし	1,636千円	管理運営を実施している。	1,592千円
713	古浦海水浴場管理運営	恵曇漁港古浦海岸の維持管理を行うもの。	観光部		●	●	●	●							○	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理のためのトイレ等の清掃や草刈等の業務を実施した。 	特になし	2,801千円	管理運営を実施している。	2,723千円
714	自然公園維持管理	宍道湖北山県立自然公園内施設及び大山隠岐国立公園内施設の維持管理を行うもの。	観光部		●	●	●	●							○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な維持管理業務を計画どおり行った。 	特になし	10,043千円	管理運営を実施している。	11,268千円
715	鹿島古浦展望台整備事業	古浦西長江トンネルの古浦側出口には、古浦の浜や恵曇漁港を一望できる展望地があり、この地を地域資源と捉えて展望台や駐車場・案内看板を整備することにより、人の集う環境を整え、地域の賑わい創出につなげるもの。	観光部				●								○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月20日完成(令和5年11月24日竣工) 	特になし	45,221千円	令和5年度で事業終了	—
716	全国榎サミット開催事業【再掲】	榎の魅力を確認して榎による地域振興のために、令和6年3月9・10日に第34回全国榎サミット松江大会を開催する。	文化スポーツ部				●		●	●	●	●	●		○	<ul style="list-style-type: none"> ・3月9日・10日の2日間で開催し、延べ4,000人の方にご来場いただいた。 ・全国榎サミット松江大会特設ホームページを開設し、ホームページ上ではサミット関連情報を掲載するとともにフォトコンテストの募集を実施した。 ・各種事業者や市民団体との連携による、当日一般来場者向けイベント等も行った。(榎の開発・販売、榎をモチーフにした工芸作品の展示・販売、榎関連商品のPR・販売、文化体験イベントなど) ・サミットの認知度向上のため、タレントの「榎鬼奴」氏を招いたイベントを興雲閣にて開催した。 	引き続き関係者と協力しながら、市花である榎の振興に取り組んでいく必要がある。	9,193千円	—	—

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月末現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
717	SNS等による情報発信推進事業【再掲】	多種多様な伝統文化芸術を誰もが興味を持てるように、文化・スポーツ関係イベントを約1分程度のニュース動画にわかりやすくまとめ、年間を通じてYouTubeやSNS等で発信する。	文化スポーツ部												○	・9月以降に開催をした下記のイベントについて、会場の様子等を約1分間にまとめYouTubeにて配信をした。 【ニュースを作成したイベント】 ・第51回松江市民美術展、第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト、小泉八雲記念館企画展、松江祭実行列、松江歴史館企画展(2件)、第40回松江城大茶会、第1回市民で国宝松江城天守の床磨き、松江市歴史のまち歩き～白湯～、国宝松江城マラソン2023、第45回まつえレディースハーフマラソン、全国榎サミット松江大会	令和5年度は12本の動画を作成したが、1本あたりのYouTube再生回数が約185回であり、多くの方に見ていただくことができなかった。	1,452千円	今年度、最初の動画の公開を8月末としているため、現時点では再生回数の実績はない。 今年度は、中海圏域の若者をターゲットにしたSNS広告を実施することとしている。	2,452千円
718	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部												○	【松江の文化力体験推進事業】 ・12の教室を開催し、計390人の親子が本市の誇る伝統文化や文化芸術を体験する機会を創出した。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・7月に自治会を通じて、全市にチラシを回覧し、5つの団体から補助金申請を受けた。	【松江の文化力体験推進事業】 ・受託事業者と実施依頼先との調整において、依頼先から委託者への問い合わせが多く、受託者は依頼先への十分な説明を行う必要があるとともに、委託者へ必要な情報提供を行う必要がある。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・ホームページに掲載するだけでは活用団体が増えないことから、自治会等への声掛けを継続する必要がある。	4,489千円	【松江の文化力体験推進事業】 ・プロポーザル実施により、日本旅行Tis松江支店を受託業者として選定した。提案内容について改めて打合せの場を設け、8月上旬の契約に向けて準備している。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・1つの団体から補助金申請を受けた。	4,763千円
719	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部												○	■審議会 第1回審議会:10月17日開催 第2回審議会:3月25日開催 ■「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定	「文化力を生かしたまちづくり条例」や「松江市伝統文化芸術振興計画」の認知度が低く、認知向上を図る必要がある。	210千円	■審議会 第1回審議会:9月26日開催 第2回審議会:3月下旬開催予定 ■7月29日～8月31日まで「松江の文化力を生かしたまちづくりに関するアンケート」を実施中 ■「松江市伝統文化芸術振興計画 第2期実施計画」を策定予定	1,261千円
720	榎文化観光振興事業	松江市の市花である「榎」の開花時期(3月から)に合わせ、松江城にて「松江榎まつり」を開催する。	文化スポーツ部												○	・日本ツバキ協会と連携し、全国榎サミット松江大会の情報発信を行った。	関係者と協力しながら、市花である榎の振興に取り組んでいく必要がある。	10千円	開催に向け調整をしている	210千円
721	ジオパーク推進事業【再掲】	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。	文化スポーツ部												○	子ども向けカヤック体験イベントや「ジオパークの日」のイベント等をはじめ、定時ガイドによるツアーや研修会等、様々な活動により目標値を達成できた。	幅広い世代を対象としたジオパークに興味を持ってもらえるようなツアーやイベントを開催し、今後も入込客数を増やしていく必要がある。	10,713千円	8月から本格的にイベント等を開催する計画であり、入込客数を増加するため着実に業務をすすめていきたい。	10,935千円
722	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	公民館区毎に作成した地域の「お宝」を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。	文化スポーツ部												○	・令和4年度に「まち歩きマップ」を改訂増刷した2地区をはじめ、8地区(大庭・本庄・法吉・乃木・大野・宍道・城北・白湯)で「まち歩き」を実施。(5月～11月)合計198名の参加があった。	・まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施だけでは厳しい。	1,100千円	・R6年度前半は、3地区で合計71名の参加があった。応募総数は3地区合計132名。 ・まち歩きしたいという需要は高いが、市主体の実施には限りがある。公民館等の各地域主体のまち歩きの参加者数を報告してもらうなどとして、全体の参加者数の増加を目指す。	1,130千円
723	伝統的建造物群保存地区検討事業【再掲】	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	文化スポーツ部												○	・文化財的価値づけにつなげるため、文化庁補助事業「伝統的建造物群保存対策調査」(2年間)の2年目に着手し、年間5回にわたる調査を完了している。 ・2月4日に調査の成果報告会を開催した。 ・重伝建制度の導入について住民の理解を深めるため、美保関まちなみ研究会の事業を運営し、計3回の勉強会などを開催した。 ・9～10月、住民による先進地視察を実施した。(岡山県矢掛町、大田市大森銀山)	・伝建は制度導入だけでは、人口減少や町の活性化の課題解決には繋がらない。住民を主体としたまちづくりの体制を整えることが必要であるが、行政としてどのように支援体制を整えていくのが課題である。	3,632千円	・4月 調査報告書配布(地元住民、美保関支所、関係団体等) ●住民組織「美保関まちなみ研究会」 ・5/12,6/17,7/29 ●勉強会「美保関まちなみ塾」 ・5/12,6/9,7/21 ●「mihonoseki伝建だより」 ・5月、6月発行 ●住民先進地視察 ・6/6:岡山県津山市 ●7/10～7/12文化庁主催「伝統的建造物群保護行政研修会(基礎コース)」参加 長崎県開催 ●庁内連携 ・5/27～5/31:各党派説明(事業概要と今後の展開) ・6/26 主管課長会で概要説明	1,149千円
724	賢明な利用推進事業	ラムサール条約の目的である「賢明な利用(ワイズユース)」を行政と市民が一体となって推進するため、庁内の関係各課との連携や、全国のラムサール条約登録湿地市町村と情報交換などを行う。	環境エネルギー部												○	・国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江市、出雲市で構成する「宍道湖水環境改善協議会」において、親子で参加する「手長工ビ採り体験」や「親子で楽しむ宍道湖での水遊び体験」を実施し、推進した。	・令和7年度は、ラムサール条約に登録され20年となるため、島根県と鳥取県が主体となって行う予定の記念行事の開催に向けて、松江市をはじめとする周辺自治体が協働し、進める必要がある。	743千円	・手長工ビ採り体験は、悪天候及び潮位上昇により中止。 ・親子で学ぶ宍道湖での水遊び体験は、R6年8月2日(金)に実施し、26名の参加。 ・令和7年度の20周年記念行事について、島根県との情報交換を開始。	493千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
725	宍道湖水環境改善協議会負担金	国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江市、出雲市が連携し、「中海・宍道湖一斉清掃」や「ヨシ刈り取り事業」などのラムサール条約の目的に沿った取り組みを実施し、宍道湖の総合的な水環境の改善に努める。	環境エネルギー部		●	●	●	●						●	○	<p>【中海・宍道湖一斉清掃】 実施日 令和5年6月11日(日) 参加人数 宍道湖 4,190名(全体7,033名) 【さくらおろち湖環境美化活動】 実施日 R5年7月7日(金) 【手長エビ採り体験】 実施日 R5年7月28日(金) 参加人数 67名 【親子で学ぶ宍道湖での水遊び体験】 実施日 R5年8月4日(金) 参加人数 54名 【宍道湖絵画コンクール】 募集期間(R5年7月中旬～9月29日(金)) 応募作品 27作品(うち入賞9作品) 表彰式 R5年11月26日(日) 【たたらの里 森で学ぶ、遊ぶ】 実施日 R5年10月21日(土) 参加人数 35名 【ヨシ刈り取りボランティア】 実施日 R6年2月9日(金)、R6年2月10日(土) 参加人数 69名(9日)、205名(10日)</p>	<p>・事業の継続的な実施のほか、一部事業内容の見直しを検討。 ・ヨシ紙の新たな活用方法の検討。(ヨシ刈り取りボランティアで刈り取ったヨシを製紙化した洋紙のほか、和紙の活用方法の検討)</p>	2,002千円	<p>【中海・宍道湖一斉清掃】 実施日 令和6年6月9日(日) 参加人数 宍道湖 2,020名(全体4,606名) 【さくらおろち湖環境美化活動】 実施日 R6年7月12日(金) 【手長エビ採り体験】 中止(悪天候及び潮位が高くエビ採りの足場確保困難のため) 【親子で学ぶ宍道湖での水遊び体験】 実施日 R6年8月2日(金) 参加人数 26名 【宍道湖絵画コンクール】 募集期間(R6年7月中旬～9月27日(金)) 募集中 【たたらの里 森で学ぶ、遊ぶ】 実施予定日 R6年10月19日(土) 【ヨシ刈り取りボランティア】 企画中 【ヨシ紙の活用】 新たに和紙を敬老祝い品の包装紙などとして活用</p>	2,002千円
726	海岸漂着ごみ等処理事業	自治会等で行われるボランティア清掃により集められた海岸漂着ごみの収集、運搬、処理を行うことにより地域の環境保全の推進を図る。	環境エネルギー部		●	●	●	●						●	○	<p>【海岸漂着ごみ等処理事業】 ボランティア回数 214回 回収量 55.39t 回収に係る燃料代 109,536円</p>	<p>【海岸漂着ごみ等処理事業】 ・地元住民やボランティア団体の高齢化 ・海岸漂着ごみの処理は国が直接行う必要がある</p>	1,869千円	<p>【海岸漂着ごみ等処理事業】 ボランティア回数 90回 回収量 17.87t 回収に係る燃料代 47,653円</p>	4,347千円
727	伝統美観保存区域等整備事業	松江市伝統美観保存区域等修景事業費補助金交付要綱に基づき、補助対象区域内における伝統的様式の建築物等の新築、改築に対し補助金を交付するもの。	都市整備部		●	●	●	●						●	○	<p>・2件の修景補助金の交付申請あり。 工作物:1件(清光院下景観形成区域) 建築物:1件(伝統美観保存区域 塩見縄手地区)</p>	昔ながらの街並みの保存などには、住民の理解が必要。	3,678千円	伝統美観保存区域(塩見縄手地区)において、建築物の改修予定が1件あり。	2,900千円
728	屋外広告物許可事務事業	市民の安全や良好な景観を守るため、松江市屋外広告物条例に基づいた屋外広告物の許可事務を行う。また、違反広告物対策として是正指導及び簡易除却を行い、屋外広告物の適正化を図る。	都市整備部		●	●	●	●						●	○	<p>・令和5年4月1日から令和6年3月31日までの屋外広告物の許可件数および簡易除却数は下記のとおり。 ・新規許可件数:479件 ・更新許可件数:1,724件 ・簡易除却数:0件</p>	掲出する屋外広告物の規模に応じて許可が必要なことの周知が必要。	554千円	<p>・令和6年4月1日から令和6年7月31日までの屋外広告物の許可件数および簡易除却数は下記のとおり。 ・新規許可件数:261件 ・更新許可件数:116件 ・簡易除却数:0件</p>	857千円
729	景観計画促進整備事業	良好な景観形成に関する施策が特に必要と認められる区域を景観計画重点区域に指定する。景観法に基づき行為届出書(又は通知書)について、建築物・工作物等が景観計画に適合しているか確認を行う。必要に応じて、各種団体の代表や専門家等で構成される松江市景観審議会を開催し、良好な景観形成を推進する。	都市整備部		●	●	●	●						●	○	<p>・令和5年4月1日から令和6年3月31日までの景観計画区域内における行為(変更)届出書及び通知書の件数は下記のとおり。 ・届出書:102件 ・通知書:19件</p>	届出提出までに早めの事前協議を行ってもらえるように呼びかけ等を行うこと。	330千円	<p>・令和6年4月1日から令和6年7月30日までの景観計画区域内における行為(変更)届出書及び通知書の件数は下記のとおり。 ・届出書:54件 ・通知書:5件</p>	289千円
730	水辺の利活用促進事業	官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進やミズベリング緑日など水辺でのイベントのほか利活用促進のための社会実験などを行う。	都市整備部		●	●	●	●						●	○	<p>・中心市街地の宍道湖や大橋川沿いの水辺において、民間による利活用が活発に行われている。 ・商業利用による日常的な賑わい創出の社会実験として、7月～10月に白湯公園において「みずべを愉しむエトセトラ」を実施。</p>	水辺の公共空間の活用について、各所で賑わいが生まれているが、日常的な賑わいにはまだ繋がっていない。今後、河川空間をオープン化し、民間事業者の活用が進み、水辺の公共空間が日常的に賑わうよう利活用促進に取り組む必要がある。	3,545千円	中心市街地の宍道湖や大橋川沿いの水辺において、民間による利活用が活発に行われている。岸公園・白湯公園の河川空間がオープン化される予定であるため、民間事業者の活用が進むと思われる。	3,640千円
731	矢田渡船活用検討調査	矢田渡船の歴史・文化遺産としての活用を検討するため、活用検討補助金を支出するもの。	都市整備部		●	●	●	●						●	○	<p>・自主運営に向けて協議を進めている。</p>	矢田渡船の活用について、これまで検証を行い、一定の整理が図られたので、補助金を廃止した。	0千円	—	—
732	河川浄化事業	堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業に加え、河川愛護団を中心とした市内河川の堤防除草等河川環境保全業務を行う。なお、市内県管理河川においては、島根県との協働により浄化事業を実施する。	都市整備部		●	●	●	●						●	○	<p>・5月23日に松江堀川藻刈り業務委託契約を締結し、堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を実施した。併せて直営による除去作業を随時実施した。 ・9月8日に松江堀川緊急藻刈り業務委託契約を締結し、水草・藻類の除去作業を実施した。 (R5水草・藻類処分量:55t) ・5月18日に「松江堀川における水草・藻類のモニタリング及び環境調査と水草2種の発芽育成実験」の業務委託契約を締結し、島根大学による研究を実施した。 ・河川愛護団による市内河川の堤防除草作業を実施した。 (R5実施団体:159団体)</p>	<p>・堀川水域内での水草・藻類除去作業を実施する際に、堀川遊覧船の運航の支障とならないよう作業調整を行なう必要がある。 ・地域の高齢化により、一部愛護団活動の継続が困難となっている。</p>	56,131千円	<p>・5月27日に松江堀川藻刈り業務委託契約を締結し、堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業を実施(継続中)。 併せて直営による除去作業を随時実施。 ・6月14日に「松江堀川における水草・藻類と育成環境のモニタリング及び繁茂抑制対策の検討」の業務委託契約を締結し、島根大学による研究を実施(継続中) ・河川愛護団による市内河川堤防除草作業を随時実施。</p>	48,370千円

No	事業名	事業概要	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点				進捗状況		実績	課題	決算額	中間実績 (7月未現在)	当初予算額	
					R3	R4	R5	R6	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える						予定どおり進捗した
733	堀川美化事業	堀川遊覧等で集客力のある「堀川」及び「堀川への流入河川・排水路」について、美化清掃を行うとともに周辺環境を整備するもの。	都市整備部		●	●	●	●							○	・堀川及び流入水域において直営による巡視を行い、漂流物の回収及び植栽管理、除草作業を実施した。 年間作業日数：194日	・作業に使用する車両(ユニック・ダンプ)及び船舶の老朽化による故障頻度が増し、都度作業行程の調整が必要となる。	12,380千円	・堀川及び流入水域において直営による巡視を行ない、漂流物の回収及び植栽管理・除草作業を実施(継続中)。	13,495千円
734	岸公園環境整備事業	岸公園の賑わいを創出するため、キッチンカーによる飲食の提供がしやすいよう出店エリアを整備する。	都市整備部			●	●	●							○	・キッチンカーエリア、出店エリアともに整備工事発注済み	-	15,143千円	観光振興課、道・緑・水辺相談室と連携して準備を行っている。	-
735	川から海へ大航海in鹿島実行委員会補助金	鹿島町でそれぞれ行われてきた地域・世代間の交流を深め、自然環境を大切にする地域行事「いかた下り」や「郷土学習」の事業を同時開催する実行委員会に助成を行う。	市民部		●	●	●	●							○	・令和5年7月16日(日)実施。 ・当日は鹿島町内3小学校の4年生や地域の方を中心とした実行委員など延べ230人が参加。	・スタッフの高齢化が進み人材確保が難しい ・猛暑の為熱中症の心配がある	200千円	令和6年7月21日(日)実施 ・当日は鹿島町内3小学校の4年生や地域の方を中心とした実行委員など延べ200人が参加	200千円
736	ぼたん祭事業	実行委員会を組織し、松江市の特産であり、市花・県花である「大根島ぼたん」をテーマとする「松江市大根島ぼたん祭」を開催するもの。	市民部			●	●	●		●					○	・県花、市花である「牡丹」のPRのため、ステージイベントを4月29日(土・祝)に八束支所中庭で開催。当日は、約3,500人の来場があり、R4年度の2倍以上となった。	・ステージイベント開催日については、近年の路地牡丹の開花時期が早まっている状況を考慮し、日程の選定を行う必要がある。 ・来場者数を更に増やすためにも、魅力的なイベントの開催と効果的な周知、資金確保が重要である。	3,939千円	・県花、市花である「牡丹」のPRのため、ステージイベントを4月21日(日)及び4月27日(土)に八束支所中庭で開催。2日合計約8,400人の来場があった。当日は、協賛イベントやコラボイベントの開催により、各方面からの来場があった。	3,742千円
737	ふるさと教育推進事業【再掲】	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。	教育委員会		●	●	●	●		●					○	・令和5年7月21日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和5年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施。	各活動のねらいや学園(中学校校区)ごとの系統性等について、再確認していく必要がある。	4,030千円	・令和6年7月31日、各学園(中学校区)、各学校へ交付金の配布完了。令和6年度市内全小・中・義務教育学校において事業実施中。	4,030千円
738	「ふるさと松江」学習推進事業【再掲】	小学校3・4年生の社会科で行うことになっている地域学習において活用する副読本「わたしたちの松江」のデータ化を行い、児童がタブレットを活用して見ることができるようにする。そこにリンク先を添付することで学びを広げたり、音や映像で学びを深めたりする。	教育委員会		●	●	●	●		●					○	・冊子のデータをPDFにして、タブレットで読むことができるようにした。特に使いにくさについての問い合わせもなく使用できている。	・配布資料はタブレットや電子黒板で適切に表示され、学習資料として役立っている。今のところ課題はない。内容等を大幅に変更する年度では、検討が必要である。	0千円	・各校の教育課程に従って、順調に活用されている。	66千円
739	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。	教育委員会		●	●	●	●		●					○	・各校の計画に沿って、順調に実施されている。	学校規模によって校外学習への取り組みやすさに違いがあり、配分する金額の調整が難しい。物価高騰による消耗品等が今後も値上がりする可能性がある。	1,765千円	各校の計画に沿って、順調に実施されている。	1,621千円
740	まちのRe-project事業【再掲】	遊休不動産活用による面的な活性化を目指すエリアリノベーションに関する実践講座の開催や、遊休不動産活用・実業化の提案と実践のための短期集中型合宿である「リノベーションスクール」の開催、遊休不動産実態調査などを行う。	都市整備部		●	●	●	●		●	●				○	・中心市街地において、松江市の「まちづくりのパートナー」となる都市再生推進法人の募集開始(R5.4~)し、1団体を指定(R5.11)。 ・中心市街地エリアビジョンに掲げる6つのゾーン内で行政が推進する主要事業についてまとめた。 ・過去5年以内に新しくできた遊休不動産を活用しているお店などを歩いて調査し、マップを作成。 ・白鳥地区において、遊休不動産となっている物件を調査。 ・ガイドラインや動画を活用したリノベーションまちづくりの啓発 ・SNSでの情報発信(R4~)。	特になし	0千円	・中心市街地において、松江市の「まちづくりのパートナー」となる都市再生推進法人の随時募集(R5.4~) ・ガイドラインや動画を活用したリノベーションまちづくりの啓発 ・継続してSNSでの情報発信(R4~)。	80千円